

FLORA bd100

HITACHI
Inspire the Next

ユ ー ザ ー ズ ガ イ ド

100X6

マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

2008年4月(初版)(廃版)
2009年3月(第4版)

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載または引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については責任を負いません。なお、保証と責任については保証書裏面の「保証規定」をお読みください。

FLORA bd100 の信頼性について

ご購入いただきました FLORA bd100（以下、FLORA bd）は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は意図されていませんし、保証もされません。このような高信頼性を要求される用途へは使用しないでください。高信頼性を必要とする場合には別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用 FLORA bd が不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・化学プラント制御・医療機器制御・緊急連絡制御等

規制・対策などについて

□ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

□ 電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

□ 高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品について

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

□ 雑音耐力について

この装置の外來電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格 IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ試験」のレベル 2 に相当する規定に合致していることを確認しております。なお、レベル 2 とは、対象となる装置に近づけないで使用されている低出力の携帯型トランシーバから受ける程度の電磁環境です。

□ 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

なお、ご不明の場合は弊社担当営業にお問い合わせください。

□ FLORA bd の廃棄について

事業者が廃棄する場合、廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は（社）全国産業廃棄物連合会に用意されています。

なお、弊社では事業者の使用済み FLORA bd の回収リサイクルサービスを行っています。詳細については「FLORA bd の廃棄についてのお問い合わせ」[P.vii](#)をご参照ください。

個人が廃棄する場合、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

また、FLORA bd のクライアントモジュールにある電池を廃棄する場合もお買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

登録商標・商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel、Celeron および Core は Intel Corporation の登録商標または商標です。

Sun、Sun Microsystems、Java は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Symantec Ghost は、Symantec Corporation の商標です。

その他、各製品名、各会社名は、各社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. and foreign patents, including patent numbers 5,315,448 and 6,836,549, and other intellectual property rights. The use of Macrovision's copy protection technology in the product must be authorized by Macrovision. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

はじめに

このたびは日立の FLORA bd100（以下、FLORA bd）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルは、クライアントモジュールを内蔵した FLORA bd の設置と接続や取り扱いの注意など、使用するために必要な事柄について記載しています。

マニュアルの表記

□ マークについて

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

 警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
注意	これは、装置の重大な損傷*、または周囲の財物の損傷もしくはデータの喪失を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。 *：「装置の重大な損傷」とは、システム停止に至る装置の損傷をさします。
 制限	装置の故障や障害の発生を防止し、正常に動作させるための事項を示します。
 補足	装置を活用するためのアドバイスを示します。

□ オペレーティングシステム（OS）の略称について

本マニュアルでは、次の OS 名称を省略して表記します。

- Microsoft® Windows® XP Professional Blade PC Edition（1RDL Version）
（以下 Windows XP または Windows）
- Microsoft® Windows Vista® Business Blade PC Edition（1RDL Version）
（以下 Windows Vista または Windows）

サポート & サービスのご案内

納入時の欠品について

納入時に、現地調整員が納品物の確認を行います。
調整作業を伴わない時や現地調整員が伺わない時に、欠品や納品内容にご不明な点などが発生した場合には、お買い求め先にご連絡ください。

困ったときは

1 マニュアルをご参照ください。

『ユーザーズガイド』（本書）の「5 困ったときには」P.71をご参照ください。
製品同梱のほかの紙マニュアルもご利用ください。

2 最新情報を Web サイトで入手ください。

- ◆ ホームページアドレス：

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/prod/cb/index.html>

最新のドライバやユーティリティ、BIOS、ファームウェア アップデートプログラムなどを提供することがあります。この場合、上記 Web サイトでご案内します。

各アップデートプログラムの適用についてはお客様責任にて実施していただきますが、FLORA bd を安全にご使用いただくためにも定期的にアクセスして、最新のドライバやユーティリティ、BIOS、ファームウェアへ更新いただくことをお奨めします。

3 電話でお問い合わせください。

障害の状態によっては、障害原因が特定できない場合があります。あらかじめご了承ください。

- 販売会社からご購入いただいた場合
販売会社へ修理の窓口をご確認ください。販売会社で修理することがあります。
- 上記以外の場合
次のお問い合わせ先に、お問い合わせください。

□ お問い合わせ先

- FLORA bd の操作や使いこなしについてのお問い合わせ
HITAC カスタマ・アンサ・センタ（HCA センタ）にお問い合わせください。技術的なお問い合わせについて回答します。ただし、各言語によるユーザプログラムの技術支援は除きます。

■ HITAC カスタマ・アンサ・センタ
TEL: 0120-2580-91（フリーダイヤル）
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
*土、日、祝日、年末年始は休ませていただきます。
*電話での対応は国内に限らせていただきます。

- 故障についてのお問い合わせ
トラブルが発生した場合は、「5 困ったときには」P.71 をご確認ください。故障と判断される場合は、日立コールセンタまたはご購入先にお問い合わせください。

■ 日立コールセンタ
TEL: 0120-921-789（フリーコール）
受付時間：9:00～18:00（平日）
*土、日、祝日、年末年始は休ませていただきます。
*電話での対応は国内に限らせていただきます。

- FLORA bd の廃棄についてのお問い合わせ
弊社では、事業者（法人所有）の使用済み FLORA bd の回収リサイクルサービスを行っています。詳細については、日立リサイクルホットラインにお問い合わせください。

■ 日立リサイクルホットライン
TEL: 0120-12-5006（フリーダイヤル、携帯電話、PHS からも可）
受付時間：月曜日～金曜日 9:30～17:00（土・日・祝日、および弊社休業日を除く）
メールアドレス：e-kankyo@ml.itg.hitachi.co.jp
ホームページアドレス：<http://www.hitachi.co.jp/pc-recycle>
*電話での対応は国内に限らせていただきます。

- Windows のお問い合わせについて
インストールおよび各種設定項目などのお問い合わせについては、有償となります。詳細は、次で紹介しています。

■ Windows のお問い合わせ
メールアドレス：supportservice-soft@itg.hitachi.co.jp
ホームページアドレス：<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/service/index.html>

システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

最近、システム装置はオフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのシステム装置の中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのシステム装置を譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」処理を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトで初期化（フォーマット）する
- 付属のリカバリー DVD を使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっている状態です。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っている状態です。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このシステム装置のハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。システム装置ユーザが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスクを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、データを読めなくすることを推奨します。

ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくシステム装置を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

なお、この段落の「システム装置」とは、FLORA bd のクライアントモジュールに相当します。

弊社では、HDD データ消去ユーティリティ『CLEAR-DA』を用意しています。

詳しくは、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/vims/solutions/ssup/clearda/index.html> をご覧ください。

目次

重要なお知らせ	iii
FLORA bd100 の信頼性について	iii
規制・対策などについて	iii
登録商標・商標について	iv
ライセンスについて	iv
著作権について	iv
はじめに	v
マニュアルの表記	v
サポート & サービスのご案内	vi
納入時の欠品について	vi
困ったときは	vi
システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意	viii
目次	ix
安全にお使いいただくために	xii
一般的なご注意	xiii
電源・電源コードのご注意	xiv
設置時・増設時のご注意	xv
運用時のご注意	xvii
警告ラベルについて	xviii
マニュアルの使いかた	xix
マニュアルの内容	xix
1 お使いになる前に	1
FLORA bd の概要	2
ネットワーク構成例	2
設置環境	3
制限事項	5
FLORA bd・周辺機器の使用環境	5
FLORA bd・周辺機器の取り扱い	5
FLORA bd ペースユニット / クライアントモジュールの組み合わせ	7
コンセントについて	7
サポートサービス	9
サポートサービスについて	9
サポートサービスの種類	10
製品保証について	10
サポートサービス期間について	10
有償サポートについて	11

トラブルを避けるために	12
データのバックアップ	12
コンピューターウイルスの予防について	12
2 FLORA bd 各部の名称	13
各部の名称と機能	14
3 FLORA bd の接続と電源の入れかた	19
FLORA bd の設置	20
FLORA bd の接続	21
ディスプレイ・キーボードなどの接続	21
電源コード	25
電源を入れる・切る	27
電源を入れる	27
電源を切る	28
メモリーを増設する	29
メモリーボードについて	29
取り付け位置	30
メモリー 4GB 搭載時に使用可能な容量について	31
4 BIOS の設定	33
セットアップメニュー	34
セットアップメニューの起動・終了	34
セットアップメニューのキー操作	35
セットアップメニューの内容	35
セットアップメニューの構成	37
セットアップメニューの画面について	38
セットアップメニューの設定項目	39
起動時のブートデバイスの設定	57
パスワードで保護する	58
設定できるパスワード	58
セットアップメニューパスワードの設定方法	61
ハードディスクパスワードの設定方法	63
LAN2 を設定する	65
LAN2 を無効にする	65
LAN2 を有効にする	65
BIOS の設定値について	67
BIOS 設定値一覧	67

5 困ったときには	71
こんな状態のときは	72
クライアントモジュールの不具合	72
CPU ファンの不具合	75
電源ユニットの不具合	75
STATUS ランプが赤点滅	76
クライアントモジュール起動時のエラー	78
エラーメッセージが表示される場合	78
6 お手入れと交換品	79
日常のお手入れ項目	80
クリーニングについて	81
FLORA bd	81
有寿命部品	82
7 付録	83
FLORA bd の仕様	84
オプション一覧	88
索引	90

安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。



これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意

これは、装置の重大な損傷*、または周囲の財物の損傷もしくはデータの喪失を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

*: 「装置の重大な損傷」とは、システム停止に至る装置の損傷をさします。



【表記例 1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例 2】分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。



【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。

これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

一般的なご注意

警告



修理・改造・分解

自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけど、けがの原因となります。特に電源ユニット内部は高電圧が数多くあり、万一さわると危険です。



カバー・ダミーブラケット

- カバー、ダミーブラケットを取り外した状態ではご使用にならないでください。感電や火災の原因となります。また、冷却効果低下などによる装置の故障の原因となります。
- ダミーブラケットがない状態で動作中に、空きスロットへ手を入れないでください。けがをするおそれがあります。
- カバーをあげる場合はすべての電源プラグをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。



装置内部への異物の混入

通気孔などから、内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物、水など導電性物質を入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。



落下などによる衝撃

落下させたりぶつけるなど、過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると感電や火災の原因となります。



装置上に物を置く

花ピン、植木鉢などの水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。水や金属などの導電性物質が内部に入った場合、そのまま使用すると感電や発煙、火災の原因となります。



電池の取り扱い

次のようなことは行わないでください。取り扱いを誤ると過熱・破裂・発火・液漏れなどでけがをしたり、発煙・火災の原因となります。

- 分解しない
- 100℃以上に加熱しない
- 焼却しない
- 水に濡らさない
- 指定以外の電池は使用しない
- 寿命以上に使用しない

交換はお買い求め先にご相談ください。

注意



接続端子への接触

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因となります。



目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、装置本来の目的用途以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因となります。



アルミ電解コンデンサについて

有寿命部品にはアルミ電解コンデンサを使用しているものがあります。

アルミ電解コンデンサは寿命があり、寿命を超えて使用すると電解液の漏れまたは枯渇により発煙・感電の原因となることがあります。

これらの危険を避けるために、有寿命部品について、設計寿命を超える場合には交換してください。

なお、交換作業については保守員にご依頼ください。

注意



バックアップについて

ハードディスク装置のデータなどの重要な内容は、外部記憶装置（NAS など）にバックアップを取ってください。ハードディスク装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまうます。

電源・電源コードのご注意

警告



電源コンセントの扱い

電源コンセントは接地形 2 極差込コンセントをご使用ください。その他のコンセントを使用すると感電や火災の原因となります。



電源コードの扱い

電源コードは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したり、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因となります。

- 物を載せない
- 引っ張らない
- 押しつけない
- 折り曲げない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない
- 束ねない
- 紫外線や強い可視光線を連続して当たらない
- 寿命以上に使用しない
- アルカリ、酸、油脂、湿気へ接触させない
- 高温環境で使用しない
- 定格以上で使用しない
- ほかの装置には使用しない



タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因となるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



電源プラグの抜き差し

- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因となります。
- 休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一部品破損時には火災の原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因となります。



電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因となります。

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
- グラグラしないコンセントをご使用ください。
- コンセントの工事は、専門知識を持った技術者が行ってください。

注意



使用する電源

使用できる電源は AC100V または AC200V のいずれかです。

設置時・増設時のご注意

警告



日本国以外での使用

この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因となります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。



湿気やほこりの多い場所での使用

水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因となります。



高温の場所での使用

高温になる場所に設置したり、断熱材で覆ったりしないでください。発火の原因となります。



梱包用ポリ袋について

装置の梱包用エアークャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。



電源モジュールについて

電源モジュールは、高電圧部分が内部にあるためカバーを開けないでください。感電や装置の故障の原因となります。



製品の取り扱い

製品は固定したラックに搭載してください。製品に寄りかかったり、上に乗ったりしないでください。また、床や壁などが弱い場所には設置しないでください。過度な振動は与えないでください。落ちたり倒れたりし、けがや故障の原因となります。

注意



装置内部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。装置内部品の追加・交換は約 30 分、時間を置いてから行ってください。やけどの原因となります。



金属など端面への接触

装置の移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

なお、移動や部品追加作業については保守員にご依頼ください。



不安定な場所での使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。



地震対策について

地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓などからの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を保守会社や専門業者にご相談いただき、実施してください。

⚠ 注意



ラック搭載について

- FLORA bd をラックキャビネットに取り付けたり取り外したりする場合、作業は保守員にお任せください。取り付け不備により FLORA bd が落下し、けがをしたり FLORA bd が故障するおそれがあります。
- クライアントモジュールをベースユニットに増設したり移設したりする場合、作業は保守員にお任せください。取り付け不備によりクライアントモジュールが落下し、けがをしたりクライアントモジュールが故障するおそれがあります。
- FLORA bd をラックキャビネットより「引き出し注意位置」を超えて引き出す場合、2人以上で扱ってください。FLORA bd が落下し、けがをしたり FLORA bd が故障するおそれがあります。



クライアントモジュールへのオプションの増設・交換

クライアントモジュールへのオプションの増設・交換作業は、すべて保守員におまかせください。
不慣れな作業を行うことにより、けがをしたり、クライアントモジュールが故障するおそれがあります。



重量物の扱いについて

- 装置は重量物のため、移動する場合などは取り扱いに注意してください。腕や腰を痛める原因となることがあります。
- 装置などの重量物を移動したり持ち上げたりする場合は、むりをせずリフタを使用し、2人以上で扱ってください。けがや故障の原因となります。



信号ケーブルについて

- ケーブルは足などをひっかけたり、ひっぱったりしないように配線してください。ひっかけたりひっぱったりするとけがや接続機器の故障の原因となります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。

注意



ねずみ対策について

ねずみなどによるコンピュータシステムの被害として次のようなものがあります。

- ケーブル類の被覆の破損断線
- 機器内部の部品の腐食、接触不良、汚損
これを防ぐため、ねずみ対策を専門業者にご相談いただき、実施してください。



クライアントモジュールの取り扱いについて

- クライアントモジュールの取り扱いは、すべて保守員におまかせください。取り扱い不備により、クライアントモジュールやハードディスク故障の原因となります。
- クライアントモジュールに内蔵されたハードディスクは精密機械です。振動や衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。取り扱い方法によっては、ハードディスク故障の原因となります。
- クライアントモジュールからハードディスクを取り外すときは、貼り付けられているラベルの矢印方向にスライドさせてください。スライドさせる方向を誤ると、ハードディスク故障の原因となります。

運用時のご注意

警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、装置のすべての電源プラグ（2本）をコンセントボックスユニットから抜いてください。そのまま使用すると感電、火災の原因になります。すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントボックスユニットの周りには物を置かないでください。



通気孔

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙、火災や故障の原因となります。また、通気孔は常にほこりが付着しないよう、定期的な点検し、清掃してください。



揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因となります。



クリーニングについて

FLORA bdのクリーニングは、電源を切り、電源コードを抜いた状態で行ってください。感電やFLORA bdの故障の原因となります。

注意



屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。



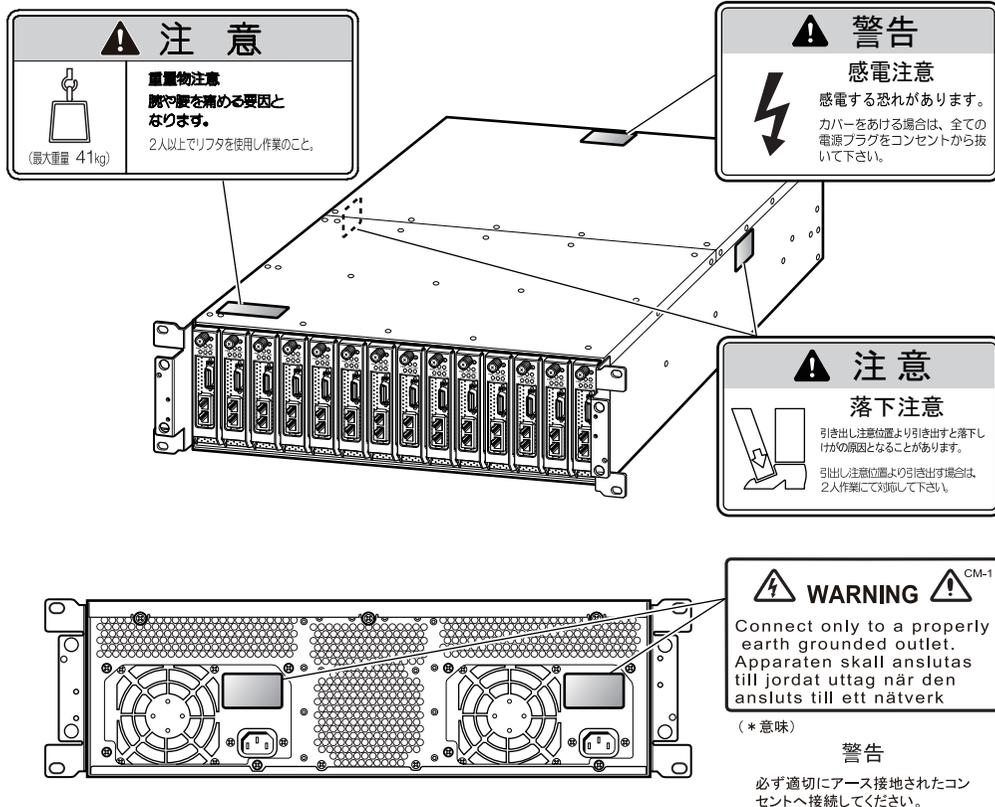
電源操作について

- シャットダウン処理を行う必要があるOSをご使用の場合、シャットダウン処理が終了してから電源を切ってください。シャットダウン処理が完了しないうちに電源を切ると、データを消失するおそれがあります。
- 電源操作は決められた手順に従って行ってください。決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、FLORA bdの故障やデータ消失の原因となります。

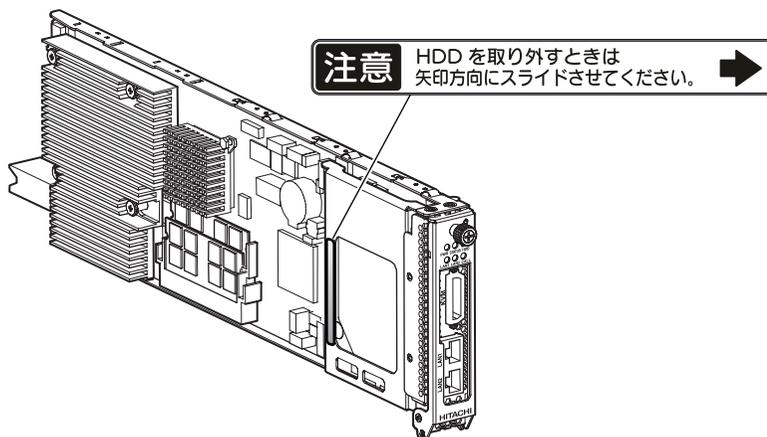
警告ラベルについて

警告ラベルは次に示す箇所に貼り付けられています。

■ FLORA bd ベースユニット



■ クライアントモジュール



マニュアルの使いかた

ここでは添付されるマニュアルについて説明します。

マニュアルの内容

『ユーザーズガイド』、『ソフトウェアガイド』の項目と内容は次のとおりです。網かけの項目は必ずお読みください。その他の項目は必要に応じてお読みください。

□ ユーザーズガイド

項目	内容
サービス&サポートのご案内	困ったときの対処方法などについて説明しています。
安全にお使いいただくために	FLORA bdの安全に関する注意事項について説明しています。
マニュアルの使いかた	FLORA bdに添付されるマニュアルの使いかたを説明しています。
1 お使いになる前に	FLORA bdの概要や取り扱い上の注意について説明しています。
2 FLORA bd各部の名称	FLORA bdの各部の名称と機能を説明しています。
3 FLORA bdの接続と電源の入れかた	FLORA bdを設置して、周辺機器を接続する方法を説明しています。電源の入れかたと切りかたについても説明しています。
4 BIOSの設定	BIOSの設定について説明しています。
5 困ったときには	FLORA bdが正常に作動しないときの対処方法を説明しています。
6 お手入れと交換品	FLORA bdのクリーニング方法を説明しています。交換が必要となる部品について説明しています。
7 付録	FLORA bdの技術的な情報などを記載しています。

□ ソフトウェアガイド

項目	内容
サービス&サポートのご案内	困ったときの対処方法などについて説明しています。
1 クライアントモジュールをはじめて使うときは	クライアントモジュールにはじめて電源を入れたときの対処や、電源の入り切りについて説明します。
2 システムの運用と管理	OS がはじめて起動したあとに、システム運用の設定が必要です。ネットワークの設定などについて説明します。
3 ご購入時の状態に戻すには	クライアントモジュールを、ご購入時の状態に戻す方法を説明しています。
4 付属ソフトウェアについて	未セットアップのソフトウェアや、個別セットアップする場合などに、ご参照ください。

1

お使いになる前に

この章では、FLORA bd の概要や設置前に知っておいていただきたい内容について説明します。

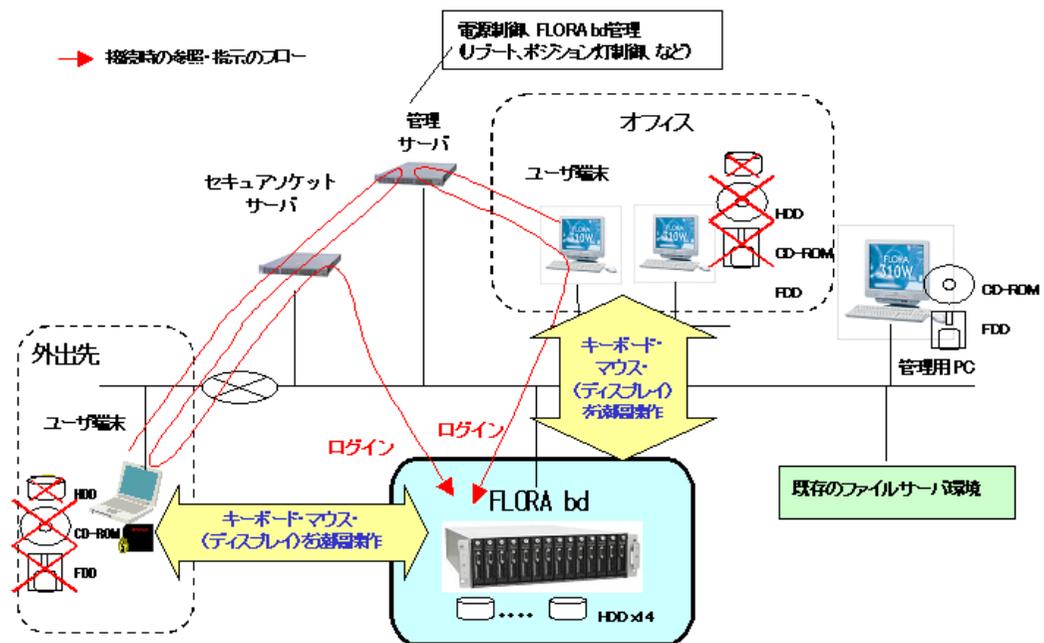
FLORA bd の概要.....	2
設置環境.....	3
制限事項.....	5
サポートサービス	9
トラブルを避けるために.....	12

FLORA bd の概要

ここでは FLORA bd を組み込んだネットワーク構成を例に、FLORA bd の概要を説明します。FLORA bd とは、クライアントモジュール（システム装置に相当）をベースユニットに最大 14 式搭載したものです。

ネットワーク構成例

FLORA bd は次のようなネットワーク構成の中核として稼働し、作成されたデータは社内のクライアントモジュールで一括管理できるようになります。ユーザ端末側は、ディスク類へのデータ保管が不要になり、重要なデータが誤って社外へ漏洩することがなくなります。クライアントモジュールを固定 IP アドレスで管理し、ユーザ端末からネットワークを通じ、自分のクライアントモジュールの電源の入り切りを可能にしています。なお、ネットワーク構成を行うためには、システムの設定が必要です。参照→『ソフトウェアガイド』「2 システムの運用と管理」



IP アドレスは固定 IP アドレスを使用してください。
IP アドレスを DHCP で運用すると、クライアントモジュールを特定できなくなります。

設置環境

FLORA bd の設置環境条件を次に示します。

警告

水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因となります。

注意

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

項目	許容範囲
温度	10～35℃ [非動作時：0～40℃]
湿度	20～80% [非動作時：10～90%] RH
湿球温度	最大27℃（結露のないこと）
塵埃	一般事務室程度
雰囲気	一般事務室条件（腐食性ガス、多量の塩分などがいないこと）
設置スペース	

*1：地震対策でラックキャビネットを直接固定する場合は、800mm 必要です。

次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 温湿度変化の激しい場所
- 電氣的ノイズを発生する機器の近く（モータの近くなど）
- 強磁界を発生する機器の近く
- ごみ、ほこりの多い場所
- 傾いて水平にならない場所
- 振動の多い場所
- 腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）や塩分を多量に含む空気が発生する場所
- 周囲が密閉された棚や箱の中などの、通気が妨げられる場所

・・・
補足

温度・湿度が25℃・50%の環境でご使用いただくことを推奨します。

制限事項

ここでは FLORA bd や周辺機器の使用環境、使用方法における制限を説明します。

FLORA bd ・ 周辺機器の使用環境

- FLORA bd は日立製ラックキャビネットに収納し、床と水平に設置してください。FLORA bd 単体やクライアントモジュール単体ではご使用にならないでください。故障や正常に動作しない原因となります。
- 寒い場所では、20 ～ 30 分経過してからお使いください。
- 暑い場所では、しばらく空調などを使用し室温が一定してからお使いください。
- 直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。
- ほこりが極端に多い場所では、使用しないでください。
- 極端に高温、低温の場所、または温度変化が激しい場所では使用しないでください。湿度が極端に高い場所では、使用しないでください。
- FLORA bd や周辺機器は腐食性ガス（特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど）や塩分を多量に含む空気が発生しない場所に設置してください。腐食性ガスや塩分を多量に含む空気などは、FLORA bd の構成材の表面を化学的に腐食させます。そうすると、電子部品の接触抵抗が増加したり、可動部品の構造がもろくなり、FLORA bd の信頼性が著しく低下します。
- FLORA bd を使用する場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合、使用中に瞬時停電や電圧低下が発生し、突然ディスプレイの表示が消えることがあります。このときは、一度 FLORA bd の電源を切って再起動してください。

FLORA bd ・ 周辺機器の取り扱い

注意

ハードディスク装置のデータなどの重要な内容は、外部記憶装置（NAS など）にバックアップを取ってください。ハードディスク装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまいます。

- 流通商品のハードウェア（USB 機器を含む）・ソフトウェア（他社から購入される Windows も含む）を使用された場合、FLORA bd が正常に動作しなくなったり故障したりすることがあります。
- クライアントモジュールの増設や移設は行わないでください。作業は保守員が行います。増設や移設の必要がある場合は、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

- システム起動中や使用中に、電源コードを抜いたり、クライアントモジュールを抜去すると、次回から起動しないことがあります。この場合はお買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。
- FLORA bd やクライアントモジュールは精密な電子部品で製造されていますので、衝撃を与えないでください。
- 磁石やスピーカなどの強い磁気を発生するものを近づけると、FLORA bd の故障の原因となります。
- ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。
 - ◆ テレビやラジオからできるだけ離す
 - ◆ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
 - ◆ コンセントを別にする
- FLORA bd やクライアントモジュールの電源を切ったら、再度電源を投入するまでに 30 秒以上、間隔を空けてください。間隔を空けないとクライアントモジュールが起動しないことがあります。
- 煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にシートなどで FLORA bd を完全に包んでください。FLORA bd 内部に入り込むと故障の原因となります。また、このとき FLORA bd の電源コードは抜いてください。
- じゅうたんのある部屋で FLORA bd を使用すると、それらの材質によっては静電気が発生し、FLORA bd に悪影響を及ぼす場合があります。静電気の発生しにくい材質のものをお使いください。
- FLORA bd を輸送する場合、常に梱包を行ってください。梱包する向きにも注意してください。梱包しなかったり、間違った向きで輸送すると、FLORA bd の故障の原因となります。
なお、工場出荷時の梱包材の再利用は 1 回のみ可能です。
- FLORA bd のカバーは保守員以外は取り外さないでください。
- 移動の際は周囲にぶつからないようにしてください。
- FLORA bd 背面および前面の通気孔をふさがないでください。通気が妨げられ、故障の原因となります。通気孔は常にほこりが付着しないよう定期的に点検し、清掃してください。
- FLORA bd やクライアントモジュールは、定期的なお手入れが必要となります。6 章「[クリーニングについて](#)」P.81 を参照し、お手入れを行ってください。
- システム起動中、キーボードリセット（[Ctrl] + [Alt] + [Delete]）を実行しないでください。システムエラーとなります。
- 本システム装置の騒音値は 54dB 以下です。
設置環境や設置場所により、騒音が大きいと感じられることがありますので、一般事務室に設置する場合には、環境や場所に十分ご注意の上、導入してください。
機器の発生騒音は ISO7779 準拠条件（環境温度条件は 30℃以下）での測定値です。

FLORA bd ベースユニット / クライアント モジュールの組み合わせ

- ベースユニットに搭載可能なクライアントモジュールの組み合わせは次のとおりです。これ以外の組み合わせはサポートしておりません。

ベースユニット	クライアントモジュール		
	100X6 モデル	100A4/100B4 モデル 100B5 モデル	100A3/100B3 モデル
2008 年 5 月モデル (1 年無償保証) 用： GY-SRF1021N-6 GY-SRF1022N-6 GY-RF10211-6 GY-RF10221-6	○	○ *1	○ *2
2008 年 5 月モデル (3 年無償保証) 用： GY-SRF1021N-6A GY-SRF1022N-6A GY-RF10211-6A GY-RF10221-6A			

*1: 搭載・移設作業の依頼についてはお買い求め先にお問い合わせください。

*2: 搭載するには別途クライアントモジュールのコンフィグレーション情報を書き換える必要があります。コンフィグレーションのアップデートプログラムの入手および書き換え手順については、次の URL をご参照ください。

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/flora/product/cb/index.html>

また、搭載・移設作業の依頼についてはお買い求め先にお問い合わせください。

コンセントについて

- AC100VモデルのFLORA bdおよびコンセントボックスユニットが必要とするコンセントプラグおよびコンセント仕様は次のとおりです。仕様を満たすものをご使用ください。

電源仕様	コンセント形式・容量	形状	
		プラグ	コンセント
AC100V ± 10% 50Hz/60Hz ± 1Hz	接地形 2 極差込コンセント 15A-125V	 (JIS-C-8303 *1)	 (JIS-C-8303 *2)  (IEC60083 A5-15)

*1: NEMA5-15P 相当です。

*2: NEMA5-15R 相当です。

- AC200VモデルのFLORA bdおよびコンセントボックスユニットが必要とするコンセントプラグおよびコンセント仕様は次のとおりです。仕様を満たすものをご使用ください。
[FLORA bd]

電源仕様	コンセント形式・容量	形状	
		プラグ	コンセント
AC200V ± 10% 50Hz/60Hz ± 1Hz	接地型 2 極差込コンセント 15A-250V	 (IEC60320-C14)	 (IEC60320-C13)

[コンセントボックスユニット]

電源仕様	コンセント形式・容量	形状	
		プラグ	コンセント
AC200V ± 10% 50Hz/60Hz ± 1Hz	接地型 2 極引掛型差込 コンセント 15A-250V	 (NEMA L6-15P)	 (NEMA L6-15R)

- 電源設備側コンセントは、電気用品安全法取得のコンセントをご使用ください。
- コンセントは活性導線 (L:Line)、接地導線 (N:Neutral)、接地 (G:Ground) からなります。ご使用前に、接地導線と接地が同電位であることをご確認ください。
- 漏電による感電を防ぐため、漏電遮断器の設置をお奨めします。設置については専門業者またはお買い求め先にご相談ください。

サポートサービス

FLORA bd を最適な状態でお使いいただくためのサポートサービスについて説明します。

サポートサービスについて

FLORA bd をご購入いただいた日から一定期間は、無償保守を行います。保証書は紛失しないよう、大切に保管してください。

■ 1年無償保証モデル

無償修理期間	ご購入日から1年間 *1
対象形名	ベースユニット：GY-SRF1021N-6、GY-SRF1022N-6、 GY-RF10211-6、GY-RF10221-6 クライアントモジュール：GY*100X6-***NN*（“*”は任意の英数字）
サービス内容	障害時サービス員が即時出張による修復（無償）
サービス時間	平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00 （日曜・祝日・年末年始を除く）*2
対象製品	FLORA bd *3（ソフトウェア製品は対象外）

*1 使用期間により寿命となる有寿命部品は交換が必要です。価格および納期についてはお買い求め先にご相談ください。

*2 交通事情・天候や地理条件（島嶼や山間部、遠隔地）などにより、上記日時は変更となる場合があります。

*3 FLORA bd 専用外付けオプションに関しては、無償修理期間はご購入日より1年間となります。

■ 3年無償保証モデル

無償修理期間	ご購入日から3年間 *1	
対象形名	ベースユニット：GY-SRF1021N-6A、GY-SRF1022N-6A、 GY-RF10211-6A、GY-RF10221-6A クライアントモジュール：GY*10AX6-***NN*（“*”は任意の英数字）	
サービス内容	1年目	障害時サービス員が即時出張による修復（無償）
	2、3年目	障害ご連絡後の翌営業日にサービス員が出張による修復（無償）
サービス時間	1年目	平日 8:00～19:00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）*2
	2、3年目	平日 9:00～17:00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）*2
対象製品	FLORA bd *3（ソフトウェア製品は対象外）	

*1 使用期間により寿命となる有寿命部品は交換が必要です。価格および納期についてはお買い求め先にご相談ください。

*2 交通事情・天候や地理条件（島嶼や山間部、遠隔地）などにより、上記日時は変更となる場合があります。

*3 FLORA bd 専用外付けオプションに関しては、無償修理期間はご購入日より1年間となります。

無償修理期間後や無償修理期間内でも別のサポートサービスをお受けになる場合や、ハードディスク交換後のファイル回復をご希望の際は、有償となります。お買い求め先にご相談ください。

【修理依頼時のご注意】

ハードディスク内のプログラムやデータ、各種設定内容は修理により消失することがあります。修理を依頼される前にバックアップをお取りください。

サポートサービスの種類

- 契約保守

あらかじめお客様とお買い求め先の間で「保守契約」を結び、製品にトラブルが発生した場合にサポートサービスを行います。

- パーコール保守

何らかの事情で、上記の保守契約を結んでいないお客様からの修理依頼を受け、サポートサービスを行います。

製品保証について

- 保証規定

保証規定は保証書の裏面に記載されておりますので、よくお読みください。

- 保証期間

保証期間は保証書に記載されておりますのでご参照ください。

- 有寿命部品の扱いについて

システム装置には、使用しているうちに劣化・消耗する有寿命部品があります。→ [「有寿命部品」 P.82](#)

寿命に達した有寿命部品はシステム装置の故障やデータの消失などの原因となりますので、早期に交換してください。なお、寿命に達した有寿命部品の交換は無償修理の対象外となります。価格および納期についてはお買い求め先にご相談ください。

サポートサービス期間について

サポートサービス期間は、製品の納入時から6年間です。

有償サポートについて

ハードウェアやソフトウェアに関する操作方法、動作に関する各種問合せは、原則有償サポートでの対応となります。

□ オプション保守サービス

無償保証期間以降について、お客様の要求に合わせて、次のサポートサービスをご用意しております。

- 維持保守サービス
年契約（定額）で、障害発生時サービス員が即時出張による修理を行うサービスです。
サービス時間 平日 9:00～17:00 土曜 8:00～12:00（日曜・祝日・年末年始を除く）
- 出張修理サービス
年契約（定額）で、障害発生時の連絡から翌平日以降、サービス員の出張による修復を行うサービスです。
サービス時間 平日 9:00～17:00（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

補足

上記サポートサービスをご契約いただかない場合は、お客様からの依頼により随時修理サービスを実施します。修理サービス内容により、技術料・技術者派遣費・部品代・旅費などのサービス料金が必要となります。

（障害修復のご利用回数は、契約毎に1回のご利用となります）

□ ソフトウェアサポートサービス

FLORA bd を安心して継続的にご利用いただくためには、ソフトウェアのサポートサービスが必要です。ソフトウェア利用上のご質問や万が一のトラブルへの対応など、必要に応じたさまざまなサポートサービスを用意しています。詳細はソフトウェアサポートサービスのホームページで紹介しています。

- ホームページアドレス
<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/service/index.html>

トラブルを避けるために

データのバックアップ

ハードディスクはその容量の大きさから、フロッピーディスクのように1枚ごとに使い分ける必要がなく、たいへん便利です。しかし、故障やフォーマットなどの誤操作で、大切なデータやプログラムのすべてが使用できなくなることもあります。ハードディスクの内容を定期的に外部記憶装置（NAS* など）へバックアップしてください。

* NAS : Network Attached Storage

コンピューターウイルスの予防について

プログラムやデータが急に壊れたり、予期せぬ動作や画面が現われたときは、クライアントモジュールがコンピューターウイルスに感染している可能性があります。コンピューターウイルスとは、クライアントモジュールに侵入し、クライアントモジュールに制御不能な動作をさせたり、データやプログラムを破壊する悪質なプログラムです。感染の原因の多くは、インターネットでの正体不明なプログラムのダウンロードや、不明なホームページへの接続、インターネットメールの添付ファイルなどにあるといわれています。これらの行為は極力避けるが、ワクチンプログラムなどで予防策を講じてください（JEITAのガイドラインに基づく表示）。

2

FLORA bd 各部の名称

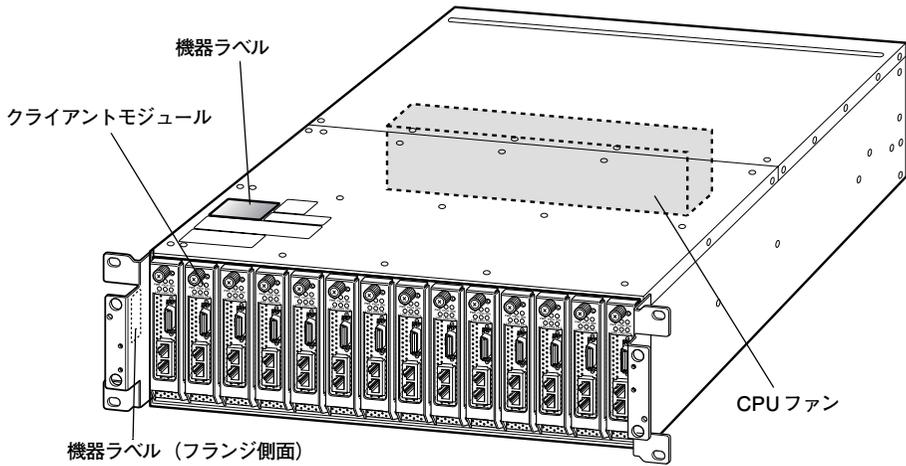
この章では、FLORA bd の各部の名称や機能について説明します。

各部の名称と機能	14
----------------	----

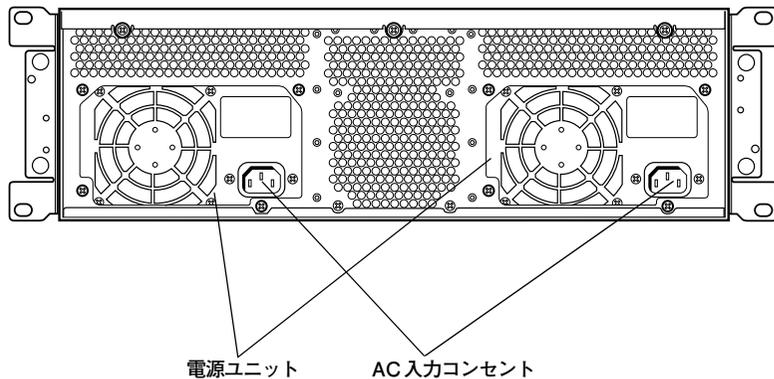
各部の名称と機能

□ FLORA bd ベースユニット

● FLORA bd ベースユニット前面



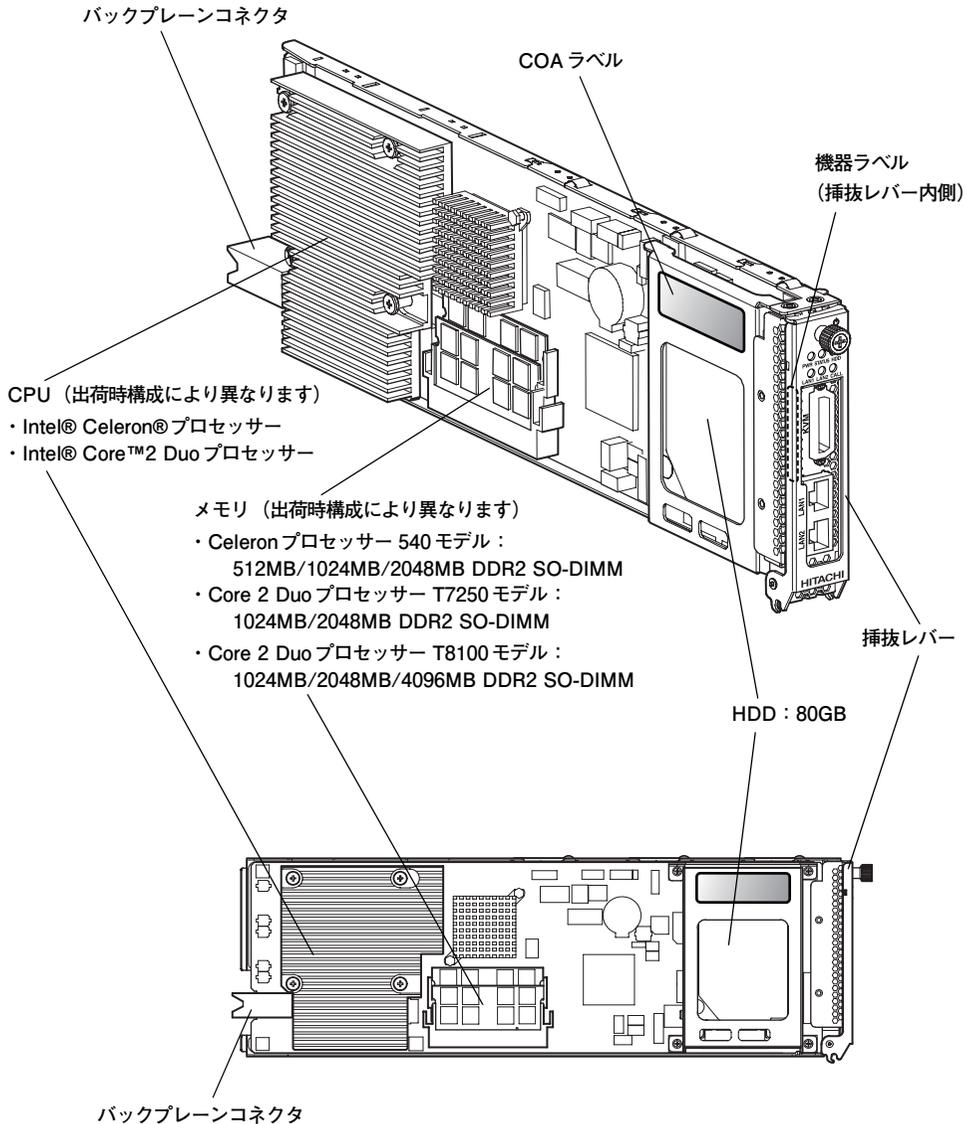
● FLORA bd ベースユニット背面



⚠ 警告

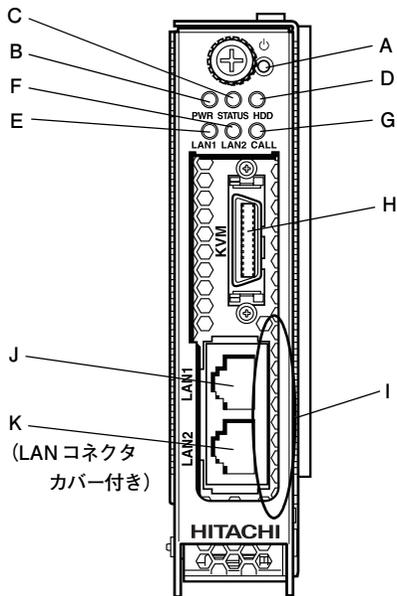
- カバー、ダミーブラケットを取り外した状態ではご使用にならないでください。感電や火災の原因となります。また、冷却効果低下などによる装置の故障の原因となります。
- ダミーブラケットがない状態で動作中に、空きスロットへ手を入れしないでください。けがをすることがあります。

□ クライアントモジュール



…
補足

機器ラベルはクライアントモジュール裏側にも貼り付けられています。



補足

クライアントモジュールのランプ輝度にはバラツキがあります。動作上問題ありません。

A 電源スイッチ (⏻)

電源スイッチを添付のスイッチピンで、4秒未満押しした場合は、起動または終了します。電源スイッチを添付のスイッチピンで、4秒以上押し続けた場合は、強制終了します。

B 電源ランプ (PWR)

赤点灯：クライアントモジュールをベースユニットに挿入し、AC電源を投入したときに赤点灯します。

また、OSをシャットダウンした場合および休止状態の場合に赤点灯します。

緑点灯：クライアントモジュール起動および稼動中に緑点灯します。

緑点滅：スタンバイモード、スリープモードのときに緑点滅します。

C STATUS ランプ (STATUS)

消灯：通常は消灯しています。

赤点滅：エラーを検出した時に点滅します。

D HDD ランプ (HDD)

緑点滅：HDDアクセス時に、点滅します。

E LAN1 ランプ (LAN1)

緑点灯：LAN1がポートとリンク確立したときに緑点灯します。

赤点滅：LAN1がデータの送受信を検知したときに赤点滅します。

F LAN2 ランプ (LAN2)

緑点灯：LAN2がポートとリンク確立したときに緑点灯します。

赤点滅：LAN2がデータの送受信を検知したときに赤点滅します。

G CALL ランプ (CALL)

黄点滅：保守を必要とするクライアントモジュールを特定するため、ネットワーク経由で指示した時に点滅します。

H KVM コネクタ

ビデオ出力および USB ポートが 3 つ出力されるポートです。KVM ケーブルを接続して使用します。

保護用の KVM コネクタカバーを添付しています。KVM ケーブルを接続しないときは、ほこりや接触を防ぐために KVM コネクタカバーを付けてください。また、KVM コネクタカバーはなくさないように保管してください。

I 診断用ランプ

障害切り分け用のランプです。

J LAN1 コネクタ

LAN 接続用のコネクタです。リモートで制御できます。

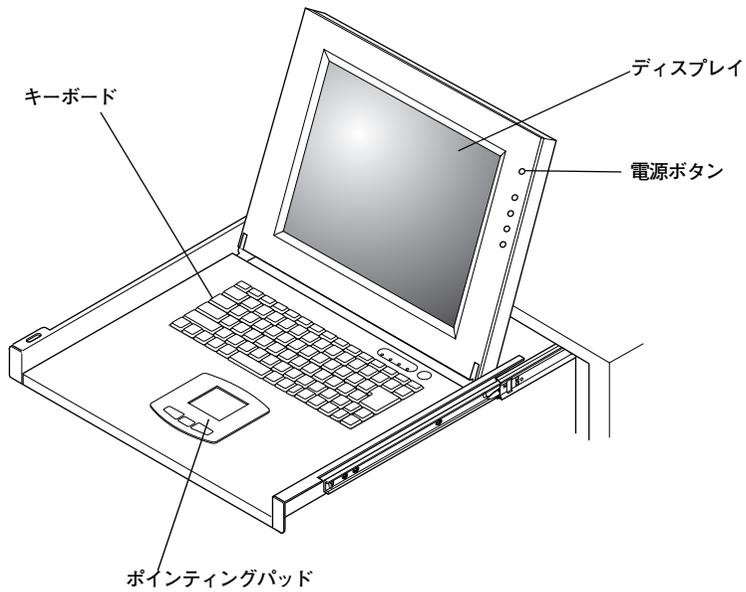
K LAN2 コネクタ

LAN 接続用のコネクタです。

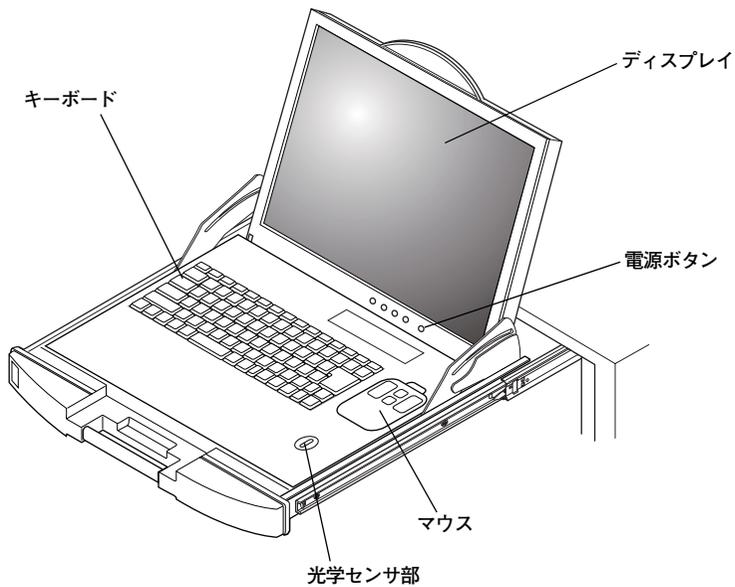
保護用の LAN コネクタカバーが付いています。LAN ケーブルを接続しないときは、ほこりや接触を防ぐためにカバーを付けてください。

□ ディスプレイ / キーボードユニット

- GH-RLK7230/GH-SRLK7230/GH-RLK7231



- GQ-RLK7240/GQ-SRLK7240/GQ-RLK7241



3

FLORA bd の接続と電源の 入れかた

この章では、FLORA bd の設置・接続方法やクライアントモジュールの電源の入れかた・切りかた、メモリーの増設について説明します。

FLORA bd の設置.....	20
FLORA bd の接続.....	21
電源を入れる・切る	27
メモリーを増設する	29

FLORA bd の設置

ここでは FLORA bd の設置について説明します。

警告

- カバー、ダミーブラケットを取り外した状態ではご使用にならないでください。感電や火災の原因となります。また、冷却効果低下などによる装置の故障の原因となります。
- ダミーブラケットがない状態で動作中に、空きスロットへ手を入れないでください。けがをすることがあります。

注意

- 装置は重量物のため、移動する場合などは取り扱いに注意してください。腕や腰を痛める原因となることがあります。
- 装置などの重量物を移動したり持ち上げたりする場合は、むりをせず器具を使用したり、2人以上で扱うなどしてください。けがや故障の原因となります。
- FLORA bd をラックキャビネットに取り付けたり取り外したりする場合、作業は保守員にお任せください。取り付け不備により FLORA bd が落下し、けがをしたり FLORA bd が故障するおそれがあります。
- クライアントモジュールをベースユニットに増設したり移設したりする場合、作業は保守員にお任せください。取り付け不備によりクライアントモジュールが落下し、けがをしたりクライアントモジュールが故障するおそれがあります。
- クライアントモジュールへのオプションの増設・交換作業は、すべて保守員におまかせください。不慣れな作業を行うことにより、けがをしたり、クライアントモジュールが故障するおそれがあります。

□ 同梱品の確認

梱包を解いたら、『同梱品チェックリスト』ですべての添付品がそろっていることと、各部品に損傷がないことをご確認ください。不足している部品があるなどの問題があるときは、お買い求め先にご連絡ください。

□ 設置場所の確認と設置

「[設置環境](#)」P.3 を参照して設置場所の環境を確認し、設置場所を決定します。

ラックキャビネットの設置についてはラックキャビネットに添付の『ラックキャビネット取扱説明書』を参照し、装置の作業を行ってください。

なお、FLORA bd のラックキャビネットへの搭載と、FLORA bd へのクライアントモジュールの搭載は、保守員以外には行わないでください。搭載する必要がある場合は、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

FLORA bd の接続

ここではディスプレイ、キーボード、LAN ケーブル、電源コードなどの接続方法を説明します。

ディスプレイ・キーボードなどの接続

接続構成例 1 または例 2 に従い、接続してください。

なお、使用しているすべてのクライアントモジュールは、LAN ケーブルでスイッチング HUB に接続しておきます。



- OS を起動中に KVM ケーブルの接続または取り外しを行わないでください。正しく起動しないことがあります。
- オプション設定された機器以外の USB 機器は、接続しないでください。正常に動作しなかったり故障したりすることがあります。
- USB ケーブルは接続構成例のとおり接続してください。構成例とは異なるコネクタ色と USB 機器の組み合わせでは、正常に動作しなかったり故障したりすることがあります。



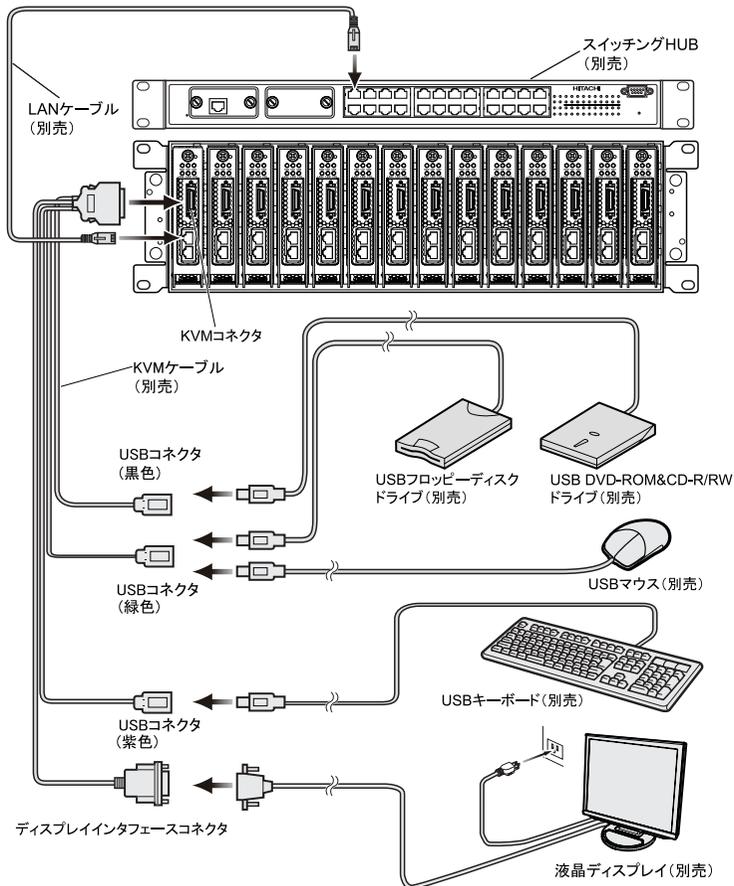
- クライアントモジュールとディスプレイを KVM ケーブルにて接続した状態で、ネットワーク経由のリモートユーザ端末を使用すると、リモートユーザ端末側のディスプレイ解像度が、KVM ケーブルで接続したディスプレイの解像度以外に変更できなくなります。
この場合は、KVM ケーブルで接続したディスプレイを切り離れた上で、クライアントモジュールを再起動してください。
なお、KVM ケーブルで接続するディスプレイは、保守時以外クライアントモジュールに接続しないでください。
- OS を起動したあとに、KVM ケーブルを接続すると、ディスプレイに正しく表示されないことがあります。
この場合は、[Ctrl] + [Alt] + [F1] キーを押してください。
- 正常に動作しない場合は、KVM ケーブルを抜き差ししてください。
KVM ケーブルは、システム稼動中に挿抜することができます。
- 接続構成例 1 では、USB-FDD と USB マウスを同時に使用できません。OS のインストールなどで FD を使用する場合は、起動後に USB-FDD と USB マウスを差し替えてください。
- ディスプレイインタフェースコネクタにディスプレイインタフェースケーブルを接続した後、ディスプレイの電源プラグをコンセントに接続します。
- DVD-ROM & CD-R/RW ドライブや FDD の設置
近傍スイッチング HUB のラックトレイを利用します。
- KVM ケーブルの同時使用
同時に接続できる KVM ケーブルは、4 本までです。

補足

- スイッチング HUB の選択について
24 ポート (10Mbps/100Mbps/1Gbps) のスイッチング HUB (GH-BH7724) は、各クライアントモジュールより集線した 16 ポート スイッチング HUB (SD-41A1-C13A) をカスケードする目的でお使いいただくことを推奨します。

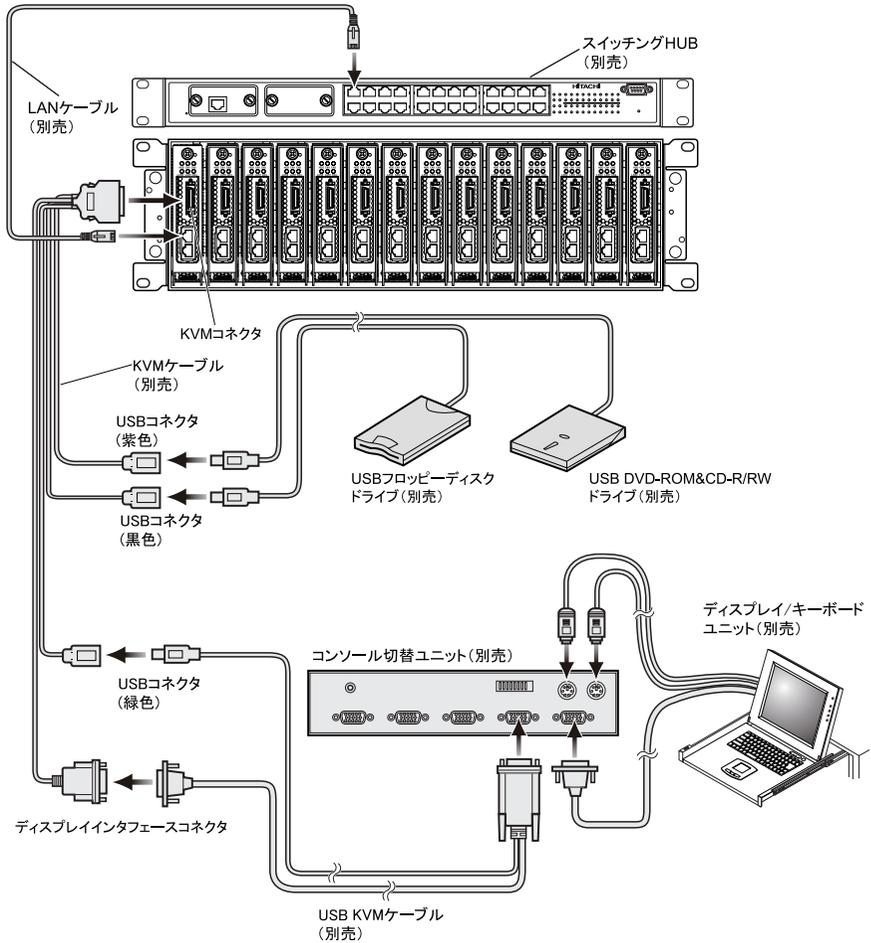
□ 接続構成例 1

KVM ケーブルとキーボード/マウスは 1 ラックに 1 式、DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ・フロッピーディスクドライブ (以下、FDD)・液晶ディスプレイは 1 サイトに 1 式必要です。



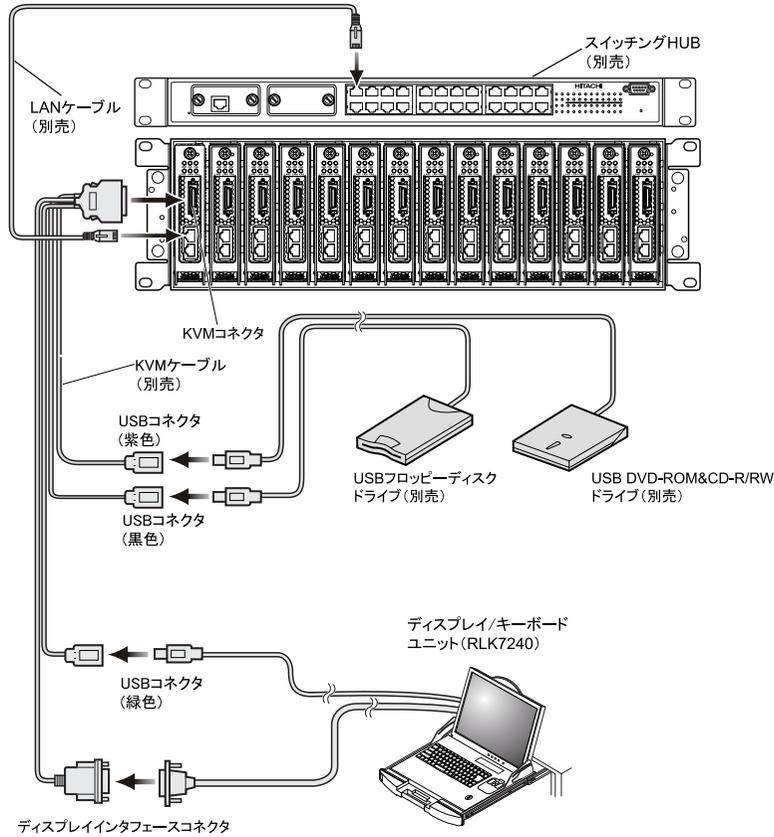
□ 接続構成例2

KVMケーブルとUSB KVMケーブル、コンソール切替ユニット付きディスプレイ / キーボードユニットは1ラックに1式、DVD-ROM & CD-R/RWドライブ・FDDは1サイトに1式必要です。



□ 接続構成例 3

KVM ケーブルと USB KVM ケーブル、ディスプレイ / キーボードユニット (GQ-RLK7240) は 1 ラックに 1 式、DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ・FDD は 1 サイトに 1 式必要です。



補足

ディスプレイ / キーボードユニット (RLK7240) に添付されているインタフェースケーブル (PS/2) とインタフェースケーブル (USB) を同時に接続し、動作させることはできません。

既設 / 増設のコンソール切替ユニットにディスプレイ / キーボードユニット (RLK7240) を接続する場合は、別売りの USB KVM ケーブル (LUB7113) が必要になります。詳細は「[接続構成例 2](#)」P.23 をご参照ください。

電源コード

警告

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因となるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

制限

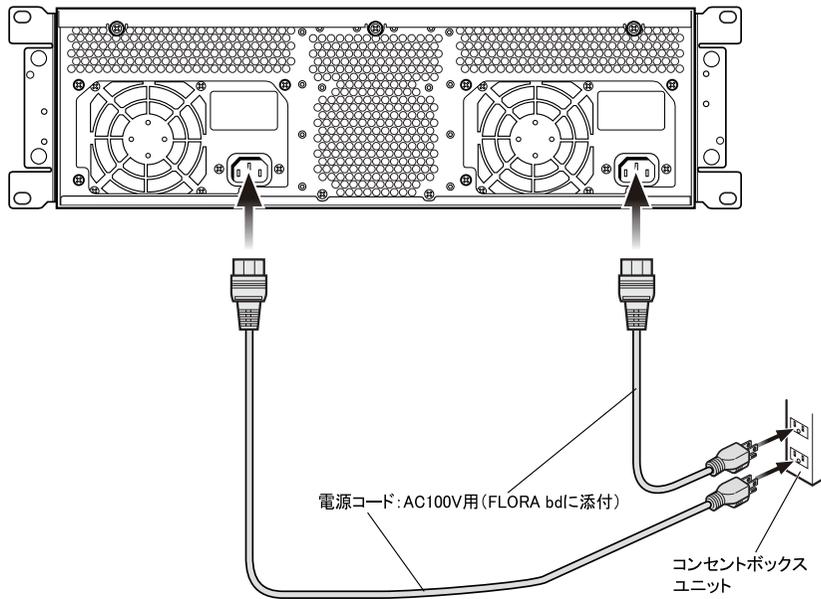
- 2本の電源コードはコンセントボックスユニットに接続してください。商用電源のコンセントに直接接続しないでください。
- AC100V モデルの場合、1 台のコンセントボックスユニットに 2 台の FLORA bd を接続しないでください。コンセントボックスユニットの定格電流をオーバーするおそれがあります。
- FLORA bd またはコンセントボックスユニットから電源プラグを抜いた場合、30 秒以上経過してから再接続してください。これを行わないと、FLORA bd が起動しないことがあります。

補足

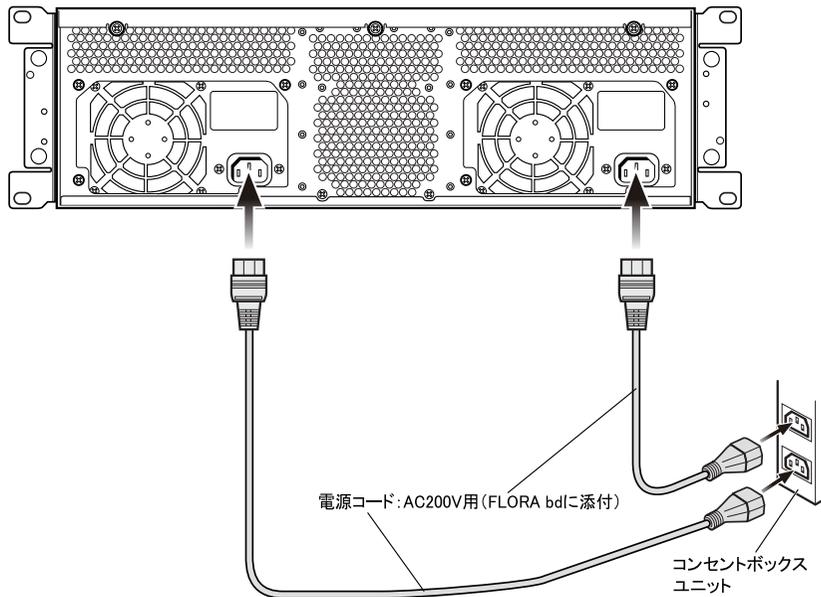
- AC100V 用コンセントボックスユニットには、スイッチング HUB やディスプレイ/キーボードユニットの電源コードも接続できません。
- 電源コードのプラグ形状や必要となるコンセント形状は、「[コンセントについて](#)」P.7 をご参照ください。

FLORA bd に 2 本の電源コードを接続すると、FLORA bd の電源が入ります。コンセントは、AC100V モデルの場合アース付き接地形 2 極の AC100V が必要です。また、AC200V モデルの場合アース付きの接地型 2 極の AC200V が必要です。

[AC100V モデル]



[AC200V モデル]



電源を入れる・切る

ここでは、クライアントモジュールの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

注意

電源操作は決められた手順に従って行ってください。決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、FLORA bdの故障やデータの消失の原因となります。

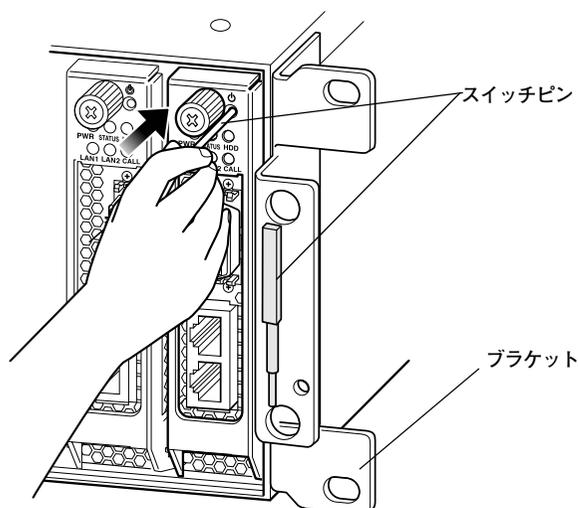


電源を切ってから入れるまで、または電源を入れてから切るまでには30秒間以上、間隔を空けてください。クライアントモジュールが起動しないことがあります。

電源を入れる

電源を入れる前に、使用している電源コードに合わせて、コンセントやコンセントボックスユニットにAC100VまたはAC200Vが給電されていることをご確認ください。

- 1 KVM ケーブルに接続したディスプレイなどの周辺機器の電源を入れます。
- 2 フロントパネルの電源（PWR）ランプが赤色に点灯したあと、フロントパネルの電源スイッチを付属のスイッチピンで4秒未満押しします。



電源スイッチは、添付のスイッチピンを使用して、ゆっくり押ししてください。添付以外のものを使用したり乱暴に行ったりすると、故障の原因となります。

・・・
補足

スイッチピンは大事に保管してください。ブラケット部分にはスイッチピンを固定する穴があいています。ご購入時には、ここに取り付けられています。

- 3 はじめて電源を入れたときには、「ソフトウェアガイド」を参照し、初期設定を行います。

電源を切る

ここでは、ハードウェアによる電源の切りかたについて説明します。

OS（ソフトウェア）による電源の切りかたについては、『ソフトウェアガイド』「1 クライアントモジュールをはじめて使うときは」「電源を入れ直す」をご参照ください。

注意

シャットダウン処理を行う必要がある OS をご使用の場合、シャットダウン処理が終了してから電源を切ってください。シャットダウン処理が完了しないうちに電源を切ると、データを消失するおそれがあります。

！
制限

周辺機器によっては、FLORA bd よりも前に電源を切る必要がある場合があります。詳しくは周辺機器に添付のマニュアルをご参照ください。

- 1 フロントパネルの電源（PWR）ランプが緑色に点灯していることを確認し、電源スイッチを付属のスイッチピンで 4 秒未満押しします。

電源が切れると、フロントパネルの電源（PWR）ランプが赤色に変わります。

・・・
補足

OS をシャットダウンして終了した場合、電源も切れます。ここで
の操作は必要ありません。

□ 強制的に電源を切る

OS が正常に作動しなくなったときなど、クライアントモジュールのシャットダウン処理／パワーダウン処理が正しくできないことがあります。この場合、電源スイッチを付属のスイッチピンで 4 秒以上押しすと、電源を切ることができます。

なお、強制的に電源を切った場合は、その後 OS・アプリケーションが正常に動作しなかったり、保存データの安全性に問題が生じたりすることがあります。このような場合、OS・アプリケーションの再セットアップや、バックアップデータからの復旧を行ってください。

メモリーを増設する

ここでは、クライアントモジュールのメモリー増設について説明します。
メモリー増設は保守員が行います。お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

⚠ 注意

クライアントモジュールへのオプションの増設・交換作業は、すべて保守員におまかせください。
不慣れな作業を行うことにより、けがをしたり、クライアントモジュールが故障するおそれがあります。

メモリーボードについて

メモリー増設用のメモリーボードは、クライアントモジュールに搭載される CPU によりサポートが異なります。

- Celeron プロセッサー 540、Core 2 Duo プロセッサー T7250 モデルの場合

形名	メモリー容量
MJ701GCB	1024MB

- Core 2 Duo プロセッサー T8100 モデルの場合

形名	メモリー容量
MJ701GCB	1024MB
MK702GCBB	2048MB

取り付け位置

メモリーボードは、クライアントモジュール上のメモリースロットに取り付けます。
メモリースロットは2つあり、工場出荷時メモリースロット1にはメモリーボードが搭載されています。

出荷時構成により、メモリースロット2に増設可能なメモリーボードは次のとおりです。

補足

出荷時構成によっては、既にメモリースロット2にもメモリーボードが搭載されています。

■ Celeron プロセッサー 540、Core 2 Duo プロセッサー T7250 モデルの場合

メモリー容量		搭載メモリーボード	
出荷時	増設後	メモリースロット1 (標準)	メモリースロット2 (増設)
512MB *	1536MB	512MB *	1024MB (MJ701GCB)
1024MB	2048MB	1024MB	1024MB (MJ701GCB)

*: Celeron プロセッサー 540 モデルのみサポート。

■ Core 2 Duo プロセッサー T8100 モデルの場合

メモリー容量		搭載メモリーボード	
出荷時	増設後	メモリースロット1 (標準)	メモリースロット2 (増設)
1024MB	2048MB	1024MB	1024MB (MJ701GCB)
1024MB	3072MB	1024MB	2048MB (MK702GCBB)
2048MB	3072MB	2048MB	1024MB (MJ701GCB)
2048MB	4096MB	2048MB	2048MB (MK702GCBB)

制限

2GBを超える物理メモリーを搭載した場合、サウンドレコーダーを使用して .wav ファイルを録音するとエラーが表示されることがあります。詳細は次の URL をご参照ください。

- 「サウンドレコーダーで .wav ファイルの録音時にエラーメッセージ「メモリ不足のためこの操作を実行できません」が表示される」

<http://support.microsoft.com/kb/284893/ja>

メモリー 4GB 搭載時に使用可能な容量について

クライアントモジュールに 4GB の物理メモリーを搭載した場合でも、次の技術的な理由により、実際に OS で使用可能なメモリー容量は約 3GB に制限されます。

■ メモリーホールによる制限

クライアントモジュールは PCI デバイスが使用するメモリー領域（メモリーリソース）を、アドレス FFFF_FFFFh を先頭とした 4GB 以下のメモリー空間に確保します。PCI デバイス用に確保した領域は OS が使用できないためメモリーホールと呼ばれ、メモリーホールの大きさは約 1GB になります。これにより、3GB を超える物理メモリーを搭載した場合、使用可能メモリー容量が減少します。

詳細は次の URL をご参照ください。

- 「4GB の RAM が搭載されている場合、Windows Vista の [システム情報] ダイアログ ボックスで報告されるシステムメモリが予想より小さい」
<http://support.microsoft.com/kb/929605/ja>
- 「合計 4GB のメモリーを搭載した際に、物理メモリーが少なく表示される。」
http://www.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/4gb_memory_issue.htm

4

BIOS の設定

この章では、BIOS の設定項目の内容について説明します。

セットアップメニュー	34
パスワードで保護する	58
LAN2 を設定する	65
BIOS の設定値について	67

セットアップメニュー

セットアップメニューでは、クライアントモジュールの BIOS の設定を行います。

セットアップメニューの起動・終了

□ 起動方法

セットアップメニューは次の方法で起動します。

- 1 クライアントモジュールの電源を入れます。
- 2 クライアントモジュール起動中、画面下部に「Press DEL to enter SETUP, F12 to enter BOOT MENU」と表示されたら、[Delete] キーを押します。

セットアップメニューが起動し、メインメニューが表示されます。

キーの入力が間に合わず OS が起動した場合は、クライアントモジュールを再起動させてください。OS 終了時にシャットダウンなどの操作が必要です。

□ 終了方法

セットアップメニューは次の方法で終了します。

- 1 [F10] キーを押します。
設定内容を保存する確認のメッセージが表示されます。

Save configuration changes and exit setup?

- 2 [Enter] キーを押します。
セットアップメニューの内容が更新・保存され、クライアントモジュールが再起動されます。
変更した内容を保存しない場合は [Esc] キーを押します。

…
補足

セットアップメニューの変更を保存せず終了する場合は [Esc] キーを 1 回から数回押し、次の確認メッセージが表示されたら [Enter] キーを押します。

Discard changes and exit setup?

セットアップメニューのキー操作

セットアップメニューでは、次のキー操作で各項目を設定します。

キー	働き
[←]、[→]	セットアップメニューの画面を選択する。
[↑]、[↓]	メニュー内のカーソルを移動させる。
[+]、[-]	値を変更する。
[Enter]	・サブメニューを表示させる。 ・コマンドを実行する。 ・設定値を決定し、次へ進む。
[PageUp]、 [PageDown]	メニュー画面を上下に移動させる。
[Home]、[End]	メニュー内のカーソルを画面の上下端に移動させる。
[F1]	キー操作の説明画面を表示する。
[F7]	セットアップメニューの設定値を以前の値に戻す。
[F9]	セットアップメニューの設定値をデフォルト値に戻す。
[F10]	設定内容を保存し、セットアップメニューを終了する。
[Esc]	・サブメニューを終了させる。 ・終了メニューに移動させる。

セットアップメニューの内容

セットアップメニューでは、次の内容が設定できます。

■ Main (メインメニュー)

- ◆ システム情報の確認
- ◆ 内蔵タイマーの日付と時刻の設定

■ Advanced (拡張メニュー)

- ◆ CPU の設定
- ◆ 表示 BIOS の設定
- ◆ ハードディスクの設定
- ◆ シリアルポートの設定
- ◆ 瞬停後などの再起動方法の設定
- ◆ PME 起動の設定
- ◆ 内蔵タイマーによる復帰の設定
- ◆ DOS 環境における USB キーボードや USB マウスの有効・無効
- ◆ 高精度タイマーの有効・無効

■ Server (サーバメニュー)

- ◆ システムイベントログ消去の設定 (使用できません)

■ Security (セキュリティメニュー)

- ◆ 管理者パスワードの設定
- ◆ 使用者パスワードの設定
- ◆ ハードディスクパスワードの設定
- ◆ AUDIO、LAN1、LAN2 の有効・無効

■ Boot (ブートメニュー)

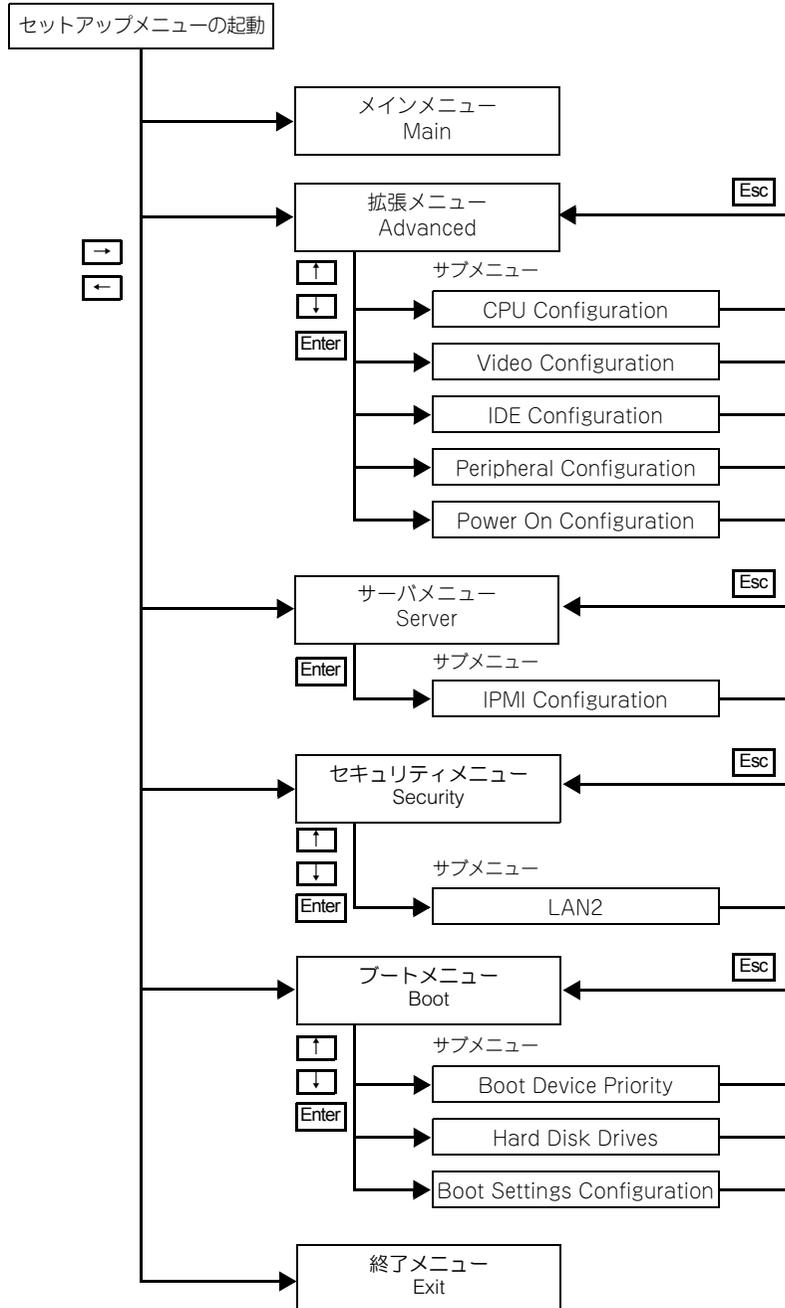
- ◆ 起動デバイスの設定
- ◆ 起動時の自己診断の設定
- ◆ PXE ブートの有効・無効

■ Exit (終了メニュー)

- ◆ セットアップデータの保存と終了
- ◆ セットアップデータを保存せずに終了
- ◆ デフォルト値の設定

セットアップメニューの構成

セットアップメニューは、次のように構成されます。



各メニューへは、矢印キー（[←]、[→]）で移動します。

サブメニューへは、矢印キー（[↓]、[↑]）で移動し、[Enter] キーを押します。

サブメニューから元のメニューへ戻るときは、[Esc] キーを使用します。

セットアップメニューの画面について

セットアップメニューが起動すると、次のメインメニュー画面が表示されます。

BIOS SETUP UTILITY		
A	Main	Advanced Server Security Boot Exit
System Overview		Use [Enter], [TAB] or [SHIFT-TAB] to select a field.

BIOS		
Version	xxxx.xxx	
Build Date	xx/xx/xxxx	Use [+] or [-] to configure system Time.
BMC		
Firmware Version	xx.xx	
Config. Version	xxxxxxx	
Processor		
Brand	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	
Speed	x.xxGHz	
System Memory		
Available	xxxxMB	
System Time	[hh:mm:ss]	←→ Select Screen
System Date	[xxx mm/dd/yyyy]	↑ ↓ Select Item
		+ - Change Field
		Tab Select Field
		F1 General Help
		F10 Save and Exit
		ESC Exit
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.		

A メニュー選択

各設定項目を設定します。メニュー名にカーソルを合わせるとメニューが表示されます。また、メニュー画面の「▶」が表示されている設定項目にカーソルを合わせて [Enter] キーを押すと、サブメニューが表示されます。

B メニューガイダンス／キーガイダンス

カーソル位置のメニューの概要が表示されます。また、下部にはキー操作方法が表示されます。

セットアップメニューの設定項目

ここでは、セットアップメニューの設定項目と設定値について説明します。



各設定項目は、推奨値（デフォルト値）以外に設定しないでください。推奨値以外に設定された場合はサポートの対象外となり、正常に動作しないおそれがあります。

□ Main：メインメニュー

BIOS SETUP UTILITY	
Main	Advanced Server Security Boot Exit
System Overview	

BIOS	
A	Version xxx.xxx
	Build Date xx/xx/xxxx
BMC	
	Firmware Version xx.xx
	Config. Version xxxxxxxx
Processor	
	Brand xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
	Speed x.xxGHz
System Memory	
	Available xxxMB
B	System Time [hh:mm:ss]
	System Date [xxx mm/dd/yyyy]
C	LAN1 Address xx.xx.xx.xx.xx
	LAN2 Address xx.xx.xx.xx.xx
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.	

Use [Enter], [TAB] or [SHIFT-TAB] to select a field.

Use [+] or [-] to Configure system Time.

←→ Select Screen
 ↑ ↓ Select Item
 + - Change Field
 Tab Select Field
 F1 General Help
 F10 Save and Exit
 ESC Exit

A Version ~ Available

自動でシステム情報を表示します。

B System Time、System Date

内蔵タイマーの日付と時刻を設定します。

- ◆ System Time

hh : mm : ss
ss = “秒” を設定します。
mm = “分” を設定します。
hh = 24 時間制で “時” を設定します。

- ◆ System Date

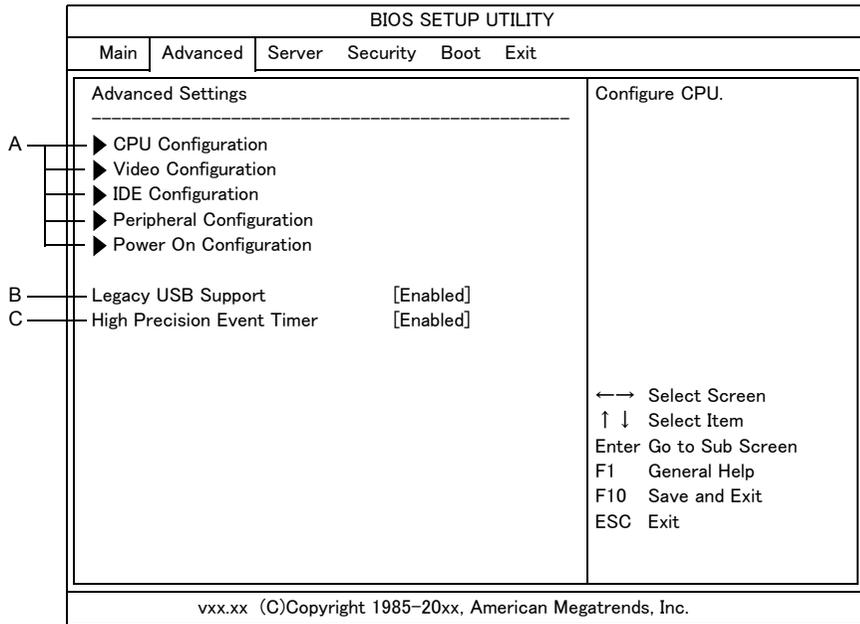
xxx mm dd yyyy
yyyy = 西暦 4 桁で “年” を設定します。
dd = “日” を設定します。
mm = “月” を設定します。
xxx = “曜日” を表示します。

「System Time」「System Date」内でのカーソルの移動には、[Tab] キー、[Enter] キーなどを押してください。

C LAN1 Address、LAN2 Address

自動でシステム情報を表示します。

□ Advanced : 拡張メニュー



A CPU Configuration ~ Power On Configuration

各サブメニューを表示します。

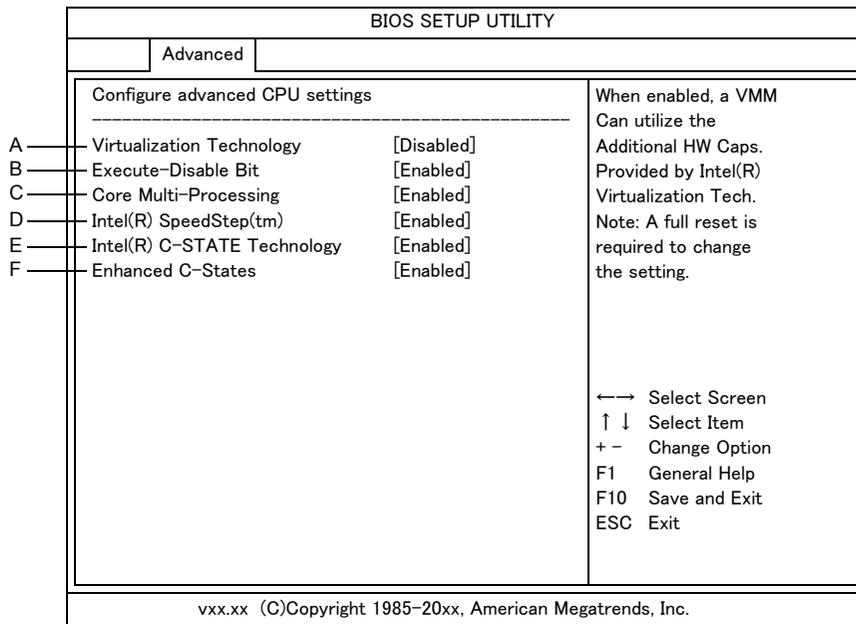
B Legacy USB Support

DOS 環境での USB キーボードや USB マウスの有効/無効を設定します。

C High Precision Event Timer

高精度イベントタイマーの有効/無効を設定します。設定は変更しないでください。

CPU Configuration : CPU 設定サブメニュー

**A Virtualization Technology**

Virtualization Technology 機能（仮想化技術）の有効／無効を設定します。
Celeron プロセッサモデルでは表示されません。

B Execute-Disable Bit

データ実行防止（DEP）機能を設定します。

C Core Multi-Processing

マルチコア動作を設定します。
Celeron プロセッサモデルでは表示されません。

D Intel(R) SpeedStep(tm)

Intel SpeedStep テクノロジーの有効／無効を設定します。
Celeron プロセッサモデルでは表示されません。

E Intel(R) C-STATE Technology

Intel C-STATE テクノロジーの有効／無効を設定します。

F Enhanced C-States

拡張 C-STATE の有効／無効を設定します。

Video Configuration : Video 設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY	
Advanced	
Video settings	
A	Internal Graphics Mode Select [Enabled, 8MB]
B	DVMT Mode Select [DVMT Mode]
C	DVMT/FIXED Memory [128MB]
Select the amount of system memory used by the Internal graphics device. ←→ Select Screen ↑ ↓ Select Item + - Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit	
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.	

A Internal Graphics Mode Select

メインメモリからディスプレイ機能に割り当てる最低メモリー容量を設定します。

補足

「Enable, 1MB」を選択すると、ディスプレイ機能に割り当てられたメモリー容量が減るため、起動時の日立ロゴが正しく表示されません。この場合、[「Full Logo Display」 P.55](#) を「Disabled」に設定し、日立ロゴを非表示にしてください。

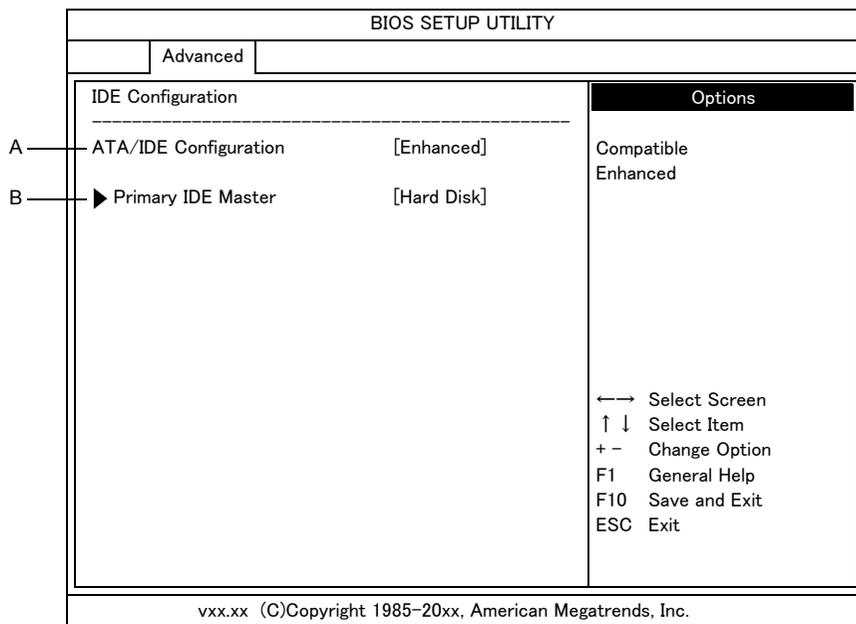
B DVMT Mode Select

内蔵グラフィック機能のメモリー制御モードを設定します。

C DVMT/FIXED Memory

内蔵グラフィック機能に割り当てる最大メモリーサイズを設定します。

IDE Configuration : IDE 設定サブメニュー

**A ATA/IDE Configuration**

IDE デバイスの動作モードを設定します。

B Primary IDE Master

ハードディスク設定サブメニューを表示します。

Primary IDE Master : ハードディスク設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY		
Advanced		
Primary IDE Master		
A	Device :Hard Disk	Select the type of device connected to the system.
	Vendor :xxxxx	
	Size :xxxxx	
	LBA Mode :xxxxx	
	Block Mode :xxxxx	
	PIO Mode :xx	
	Async DMA :xxxxx	
	Ultra DMA :xxxxx	
	S.M.A.R.T. :xxxxx	
B	Type [Auto]	
	LBA/Large Mode [Auto]	↑ ↓ Select Item
	Block (Multi-Sector Transfer) [Auto]	+ - Change Option
	PIO Mode [Auto]	F1 General Help
	DMA Mode [Auto]	F10 Save and Exit
	S.M.A.R.T. [Auto]	ESC Exit
	32Bit Data Transfer [Enabled]	
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.		

A Device ~ S.M.A.R.T.

自動でハードディスク情報を表示します。

B Type ~ 32Bit Data Transfer

ハードディスクの動作を設定します。設定は変更しないでください。

Peripheral Configuration : ペリフェラル設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY	
Advanced	
Peripheral Configuration	
Serial Port1 Address	[Disabled]
Allows BIOS to Select Serial Port1 Base Addresses.	
←→ Select Screen ↑↓ Select Item + - Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit	
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.	

A Serial Port1 Address

使用しません。設定は変更しないでください。

Power On Configuration : 電源オン設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY		
	Advanced	
	Power On Configuration	
A	Restore on AC Power Loss	[Power Off]
B	Resume On PME#	[Enabled]
C	Resume On RTC Alarm	[Disabled]
D	RTC Alarm Date (Days)	[xx]
E	RTC Alarm Time	[xx:xx:xx]
		Options
		Power Off
		Power On
		Last State
		←→ Select Screen
		↑ ↓ Select Item
		+ - Change Option
		F1 General Help
		F10 Save and Exit
		ESC Exit
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.		

A Restore on AC Power Loss

停電などで電源供給が遮断された場合、電源供給が復旧したときの動作を設定します。

B Resume On PME#

LAN1/LAN2 からの受信で起動させるかどうかを設定します。

C Resume On RTC Alarm

電源が切れている状態から、指定した日時で復帰する機能の有効/無効を設定します。

D RTC Alarm Date (Days)

復帰する日付を設定します。

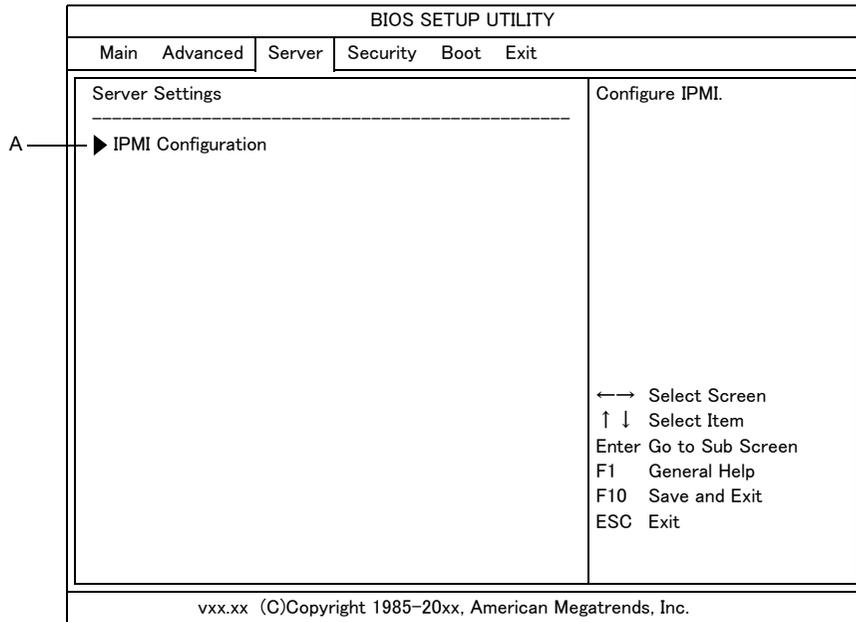
Resume On RTC Alarm を有効にしたときに表示されます。

E RTC Alarm Time

復帰する時刻を設定します。

Resume On RTC Alarm を有効にしたときに表示されます。

□ Server : サーバメニュー



A IPMI Configuration

IPMI 設定サブメニューを表示します。

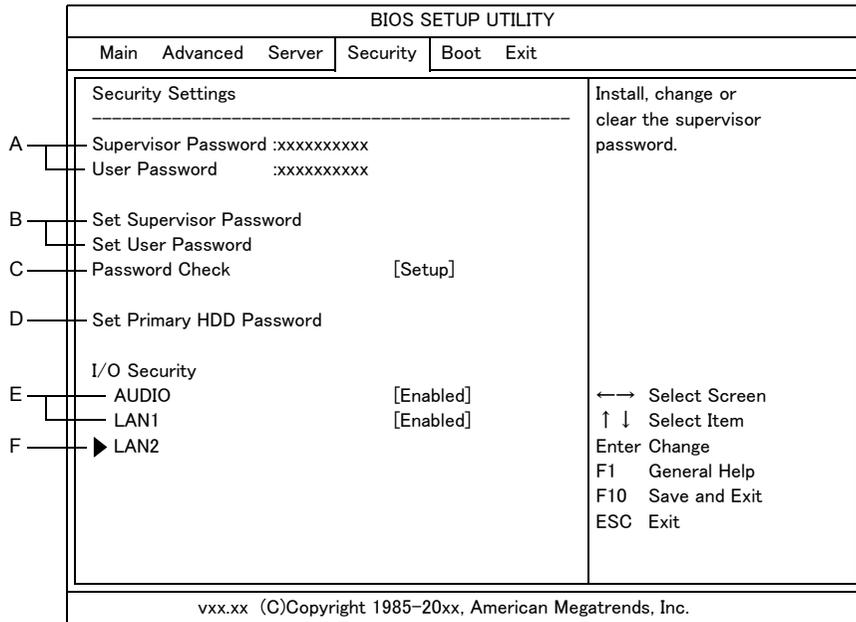
IPMI Configuration : IPMI 設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY	
Server	
IPMI Configuration	
Clear System Event Log	[Disabled]
WDT Function During POST	[Disabled]
Clear System Event Log.	
←→ Select Screen	
↑ ↓ Select Item	
+ - Change Option	
F1 General Help	
F10 Save and Exit	
ESC Exit	
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.	

A Clear System Event Log ~ WDT Function During POST

使用しません。設定は変更しないでください。

□ Security : セキュリティメニュー



A Supervisor Password、User Password

各パスワードの設定状況を表示します。
パスワードが設定されている場合、「Installed」と表示します。
パスワードが設定されていない場合、「Not Installed」と表示します。

B Set Supervisor Password、Set User Password

各パスワードを設定、変更、解除します。

C Password Check

パスワード入力を行う条件を指定します。

- ◆ Setup : セットアップメニューを起動したときのみパスワード入力を行うことができます。
- ◆ Always : セットアップメニューを起動したとき、およびシステムを起動したときにパスワードを入力することができます。

D Set Primary HDD Password

ハードディスクパスワードを設定、解除します。

E AUDIO、LAN1

AUDIO コントローラ、LAN コントローラ 1 の有効/無効を設定します。

F LAN2

LAN2 設定サブメニューを表示します。

LAN2 : LAN2 設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY	
Security	
<p>WARNING: You will need to call our support service when you want to enable LAN2 device again. Please see User's Manual.</p> <p>Do you want to change LAN2 device setting?</p>	
A — LAN2	[Enabled]
<p>If Disabled, the LAN2 controller will be disabled. You will need to call our support service when you want to enable LAN2 device again. Please see User's Manual.</p> <p>←→ Select Screen ↑ ↓ Select Item + - Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit</p>	
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.	

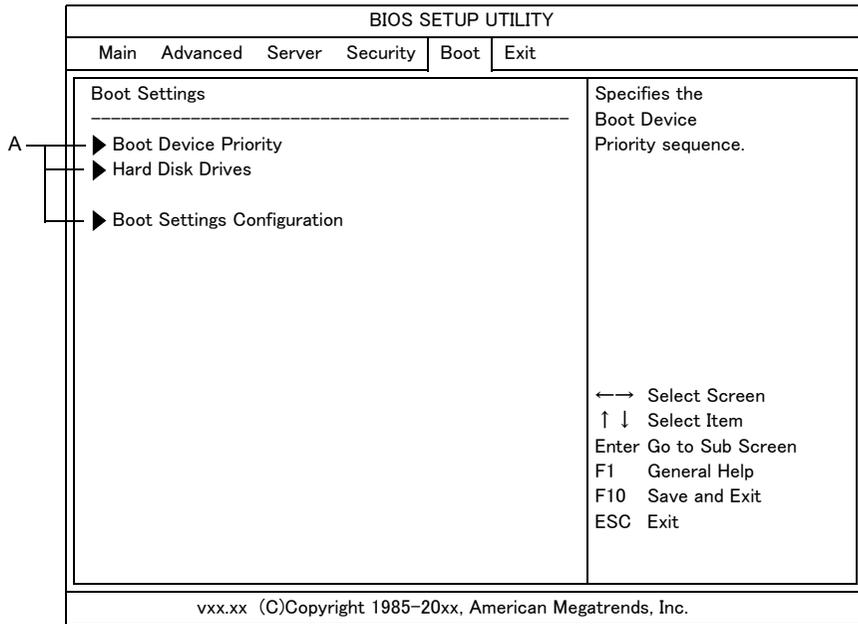
A LAN2

LAN コントローラ 2 の有効/無効を設定します。

補足

LAN2 の設定について → [「LAN2 を設定する」 P.65](#)

□ Boot : ブートメニュー



A Boot Device Priority ~ Boot Settings Configuration

各サブメニューを表示します。

Boot Device Priority : ブートデバイス設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY	
Boot	
Boot Device Priority	
A	1st Boot Device [SATA:xxxxxxxx]
B	2nd Boot Device [Network:xxxxxxxx]
	3rd Boot Device [Network:xxxxxxxx]
Specifies the boot sequence from the available devices. A device enclosed in parenthesis has been disabled in the corresponding type menu. ←→ Select Screen ↑ ↓ Select Item + - Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit	
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.	

A 1st Boot Device

ブートデバイスが複数ある場合、1番目にブートを行うデバイスを設定します。

B 2nd Boot Device、3rd Boot Device

ネットワークブートを有効にすると表示されます。

「Network:IBA GE Slot 0200 v1270」は LAN1 を表します。

「Network:IBA GE Slot 00C8 v1270」は LAN2 を表します。

Hard Disk Drives : ハードディスクドライブ設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY	
Boot	
Hard Disk Drives	Specifies the boot sequence from the available devices.
A — 1st Drive [SATA:xxxxxxxx]	
<p>←→ Select Screen ↑ ↓ Select Item + - Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit</p>	
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.	

A 1st Drive

ハードディスクが複数接続されている場合、どのハードディスクからブートするかを設定します。

Boot Settings Configuration : ブート設定サブメニュー

BIOS SETUP UTILITY		
		Boot
Boot Settings Configuration		Allows BIOS to skip certain tests while booting. This will decrease the time needed to boot the system.
A	Quick Boot [Enabled]	
B	Full Logo Display [Enabled]	
C	Network Boot [Disabled]	
D	Multi-Boot Menu [Enabled]	
E	Setup Prompt [Enabled]	
F	Halt On [No errors]	
		←→ Select Screen ↑ ↓ Select Item + - Change Option F1 General Help F10 Save and Exit ESC Exit
vxx.xx (C)Copyright 1985-20xx, American Megatrends, Inc.		

A Quick Boot

起動時の Power On Self Test を簡略化するかどうかを設定します。

B Full Logo Display

起動時に日立ロゴを表示させるかどうかを設定します。

C Network Boot

ネットワークブートの有効/無効を設定します。有効にすると、ブートデバイスにネットワークデバイスが追加されます。

D Multi-Boot Menu

起動時にブートデバイスを選択するメニューを表示させるかどうかを設定します。

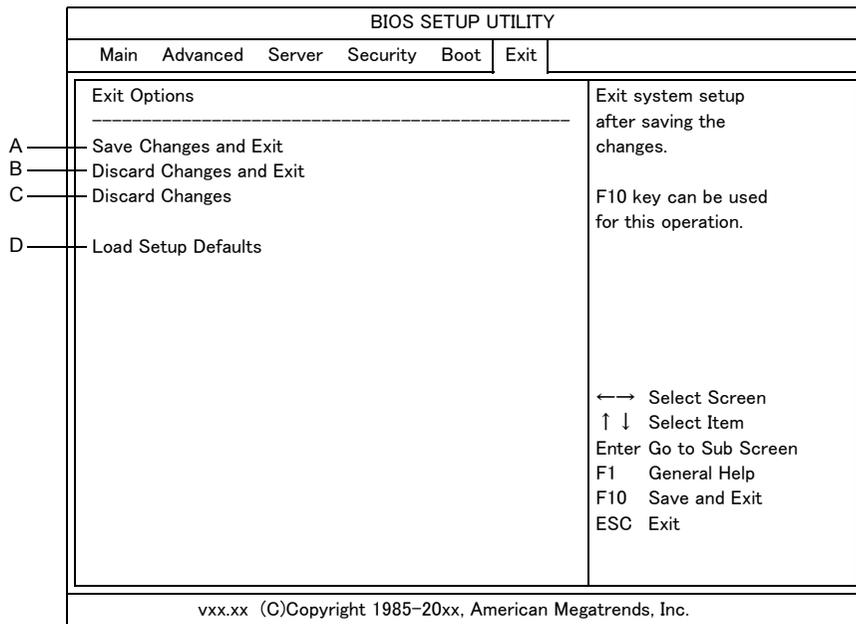
E Setup Prompt

起動時に「Press DEL to enter SETUP, F12 to enter BOOT MENU」を表示させるかどうかを設定します。

F Halt On

起動時のシステムテストのエラー結果による、システムの停止/続行を設定します。出荷時は、どんなエラーでも続行します。

□ Exit : 終了メニュー



A Save Changes and Exit

セットアップデータを保存してセットアップメニューを終了し、再起動します。
[F10] キーと同等の機能です。

B Discard Changes and Exit

セットアップデータを保存せずにセットアップメニューを終了し、クライアントモジュールの起動を続行します。

C Discard Changes

直前までのセットアップデータの変更を取り消します。

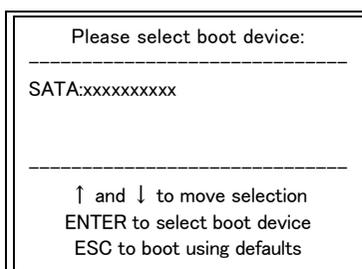
D Load Setup Defaults

セットアップデータをデフォルト値に戻します。

起動時のブートデバイスの設定

クライアントモジュールの起動時に、ブートするデバイスを選択することができます。手順は次のとおりです。

- 1 クライアントモジュールの電源を入れます。
- 2 クライアントモジュールの起動中、画面下部に「Press DEL to enter SETUP, F12 to enter BOOT MENU」と表示されたら [F12] キーを押します。
「Boot Menu」が表示されます。



- 3 ブートするデバイスを [↑]、[↓] キーで選択し、[Enter] キーを押します。



制限

接続されていないデバイスや OS がインストールされていないデバイスは選択しないでください。ブートできません。



補足

[Esc] キーを押すと、セットアップメニューで設定したデバイスの順位でブートします。

パスワードで保護する

ここではパスワードの設定方法を説明します。パスワードは必要なときにだけ設定してください。パスワードを設定すると、正しいパスワードを入力した人がクライアントモジュールを起動したり、セットアップメニューの内容を変更したりできます。



パスワードを設定したときは、パスワードをメモにとり安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。もし忘れてしまった場合は、お問い合わせください。有償で対処します。ただしハードディスクパスワードの場合は、HDD を有償で交換し、OS を再インストールする場合があります。

お問い合わせについて→「[お問い合わせ先](#)」P.vii

設定できるパスワード

設定できるパスワードには、次のものがあります。

- セットアップメニューのパスワード
- ハードディスクパスワード

□ セットアップメニューのパスワード

セットアップメニューのパスワードを設定すると、不正な使用を防ぐことができます。

セットアップメニューのパスワードには、次のものがあります。

- 管理者用パスワード (Supervisor Password)
- 使用者用パスワード (User Password)



パスワードを設定すると、セットアップメニュー起動時にパスワードの入力画面が表示されます。このとき誤ったパスワードを3回入力すると、クライアントモジュールが操作できなくなります。この場合は、いったん電源スイッチを押し、クライアントモジュールの電源を切ってやり直してください。

●管理者用パスワード (Supervisor Password)

セットアップメニューの設定を変更できる人を制限したり、クライアントモジュールを使用できる人を制限するためのパスワードです。設定すると、管理者用パスワードを知っている人だけが、セットアップメニューのすべての設定を変更できるようになります。

補足

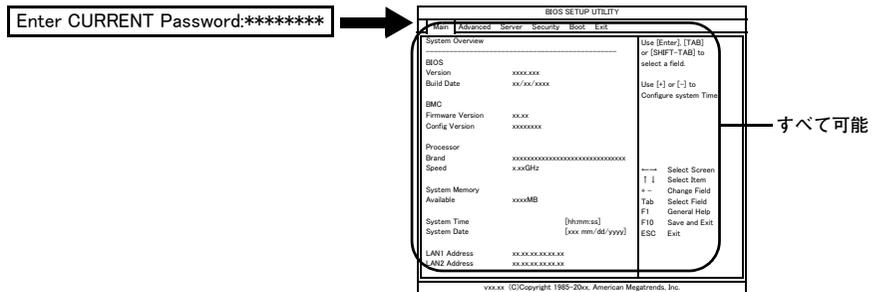
管理者用パスワードの設定について

→「管理者用またはユーザー用パスワードを設定/変更する」P.61

■ セットアップメニューを表示する場合

パスワード入力

セットアップメニューのすべてが設定可能



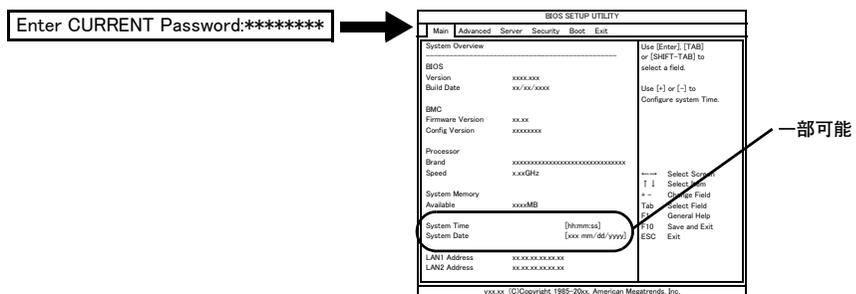
●ユーザー用パスワード (User Password)

セットアップメニューのすべての設定を変更する権限はありませんが、クライアントモジュールを使用する権限を与えるパスワードです。管理者用パスワードを設定したあとで設定できます。設定すると、ユーザー用パスワードを知っている人だけが、セットアップメニューの一部の設定を変更できるようになります。

■ セットアップメニューを表示する場合

パスワード入力

セットアップメニューの一部が設定可能



セットアップメニューで設定可能/不可能な項目は、次のとおりです。

[Main] : メインメニュー	[System Time]、[System Date] のみ設定できます。
[Advanced] : 拡張メニュー	すべて設定できません。
[Server] : サーバメニュー	
[Security] : セキュリティメニュー	[Set User Password] のみ設定できます。
[Boot] : ブートメニュー	すべて設定できません。
[Exit] : 終了メニュー	[Save Changes and Exit]、[Discard Changes and Exit]、[Discard Changes] のみ設定できます。



使用者用パスワードの設定について
→「管理者用または使用者用パスワードを設定／変更する」P.61

□ ハードディスクパスワード

ハードディスクパスワードには、次のものがあります。

- HD マスターパスワード（設定および使用できません）
- HD ユーザーパスワード

搬送時の紛失などによる情報漏えい防止をはかることができます。

HD ユーザーパスワードの設定が不正に変更されないように、管理者用パスワードを設定することをお勧めします。



- HD ユーザーパスワードを設定すると、クライアントモジュールの起動時にパスワードの入力画面が表示されます。このとき誤ったパスワードを3回入力すると、ハードディスクを利用できなくなります。この場合は、いったん電源スイッチを押しクライアントモジュールの電源を切って、パスワードの入力をやり直してください。
- クライアントモジュール起動時のパスワード入力で、HD マスターパスワードは使用できません。HD ユーザーパスワードを入力してください。

● HD ユーザーパスワード（HD User Password）

クライアントモジュールの使用者が設定するパスワードです。

HD ユーザーパスワードを設定すると、クライアントモジュールの起動時に HD ユーザーパスワードを入力する必要があります。

- クライアントモジュールを起動する場合
パスワード入力

Hard Disk Locked, enter user Password:*****



クライアントモジュールが起動する



HD ユーザーパスワードの設定について
→「HD ユーザーパスワードを設定／変更する」P.63

セットアップメニューパスワードの設定方法

□ 管理者用またはユーザー用パスワードを設定／変更する

セットアップメニュー起動時に、管理者用またはユーザー用のパスワードを入力するかどうかを設定します。

制限

パスワードはメモなどを取り、安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。もし忘れてしまった場合はお問い合わせください。有償にて対応いたします。
お問い合わせについて→「お問い合わせ先」P.vii

補足

- パスワードでは、大文字と小文字を別の文字として扱います。
- パスワードの設定を途中でやめるときは、[Esc] キーを押します。

- 1 クライアントモジュールの電源を入れ、セットアップメニューを起動する。
セットアップメニューが起動する。
セットアップメニューの起動方法→「起動方法」P.34
- 2 [←]、[→] キーで [Security] を選ぶ。
[Security] メニューが表示される。
- 3 [↑]、[↓] キーで、[Set Supervisor Password] または [Set User Password] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワード入力画面 [Enter New Password] が表示される。
- 4 半角 8 桁以内の数値または文字でパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。
パスワード入力画面 [Confirm New Password] が表示される。

補足

- パスワードには数字の0～9とアルファベットのa～z およびA～Z が使えます。それ以外は使用しないでください。
- パスワードを入力すると画面に「*** ……」と表示されます。

- 5 再度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。
- 6 [Enter] キーを押す。
[Security] メニューに戻る。
再度入力したパスワードが間違っていると、警告の画面が表示されるので [Enter] キーを押し、手順 3 からやり直してください。

7 [F10] キー押す。
設定内容の保存確認のメッセージが表示される。

8 [OK] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワードが設定され、クライアントモジュールが再起動される。

□ 管理者用または使用者用パスワードを解除する

管理者用または使用者用パスワードの解除方法を説明します。

- 1 クライアントモジュールの電源を入れ、セットアップメニューを起動する。
セットアップメニューが起動する。
セットアップメニューの起動方法→「[起動方法](#)」P.34
- 2 [←]、[→] キーで [Security] を選ぶ。
[Security] メニューが表示される。
- 3 [↑]、[↓] キーで、[Set Supervisor Password] または [Set User Password] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワード入力画面 [Enter New Password] が表示される。
- 4 各項目にパスワードを入力しないで [Enter] キーを押す。
パスワードが解除される。
- 5 [F10] キー押す。
設定内容の保存確認のメッセージが表示される。
- 6 [OK] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワードが解除され、クライアントモジュールが再起動される。

ハードディスクパスワードの設定方法

□ HD ユーザーパスワードを設定／変更する

ハードディスクパスワードの使用者用パスワードを設定します。

制限

パスワードはメモなどを取り、安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。もし忘れてしまった場合はお問い合わせください。その場合、HDD を有償で交換し、OS を再インストールする場合があります。

お問い合わせについて→「[お問い合わせ先](#)」 P.vii

補足

パスワードの設定を途中でやめるときは、[Esc] キーを押します。

- 1 クライアントモジュールの電源を入れ、セットアップメニューを起動する。
セットアップメニューが起動する。
セットアップメニューの起動方法→「[起動方法](#)」 P.34
- 2 [←]、[→] キーで [Security] を選ぶ。
[Security] メニューが表示される。
- 3 [↑]、[↓] キーで、[Set Primary HDD Password] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワード入力画面 [Enter New Password] が表示される。

補足

クライアントモジュール起動時に HD ユーザーパスワードを解除していない場合は、すでに設定しているパスワードを先に入力します。

- 4 半角 32 桁以内の数値または文字でパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。
パスワード入力画面 [Confirm New Password] が表示される。

補足

- パスワードには数字の0~9とアルファベットのa~z およびA~Z が使えます。それ以外は使用しないでください。
- パスワードを入力すると画面に「*** ……」と表示されます。

- 5 再度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。
[Password installed] 画面が表示される。
- 6 [Enter] キーを押す。
[Security] メニューに戻る。
再度入力したパスワードが間違っていると、警告の画面が表示されるので [Enter] キーを押し、手順 3 からやり直してください。

- 7 [F10] キー押す。
設定内容の保存確認のメッセージが表示される。
- 8 [OK] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワードが設定され、クライアントモジュールが再起動される。

□ HD ユーザーパスワードを解除する

- 1 クライアントモジュールの電源を入れ、セットアップメニューを起動する。
セットアップメニューが起動する。
セットアップメニューの起動方法→「[起動方法](#)」P.34
- 2 [←]、[→] キーで [Security] を選ぶ。
[Security] メニューが表示される。
- 3 [↑]、[↓] キーで、[Set Primary HDD Password] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワード入力画面 [Enter New Password] が表示される。

…
補足

クライアントモジュール起動時に HD ユーザーパスワードを解除していない場合は、すでに設定しているパスワードを先に入力します。

- 4 パスワードを入力しないで [Enter] キーを押す。
パスワードが解除される。
- 5 [Enter] キーを押す。
[Security] メニューに戻る。
- 6 [F10] キー押す。
設定内容の保存確認のメッセージが表示される。
- 7 [OK] を選び、[Enter] キーを押す。
パスワードが解除され、クライアントモジュールが再起動される。

LAN2 を設定する

ここではクライアントモジュールの LAN2 の設定を説明します。
運用形態にあわせて LAN2 を無効／有効に設定できます。
出荷時は LAN2 は有効に設定されています。

LAN2 を無効にする

- 1 クライアントモジュールの電源を入れ、セットアップメニューを起動する。
セットアップメニューが起動する。
セットアップメニューの起動方法→「[起動方法](#)」 P.34
- 2 [←]、[→] キーで [Security] を選ぶ。
[Security] メニューが表示される。
- 3 [↑]、[↓] キーで [LAN2] を選び、[Enter] キーを押す。
[LAN2] サブメニューが表示される。
- 4 [↑]、[↓] キーで [LAN2] を選び、[Enter] キーを押す。
[Disabled] または [Enabled] を選択する画面が表示される。
- 5 [↑]、[↓] キーで [Disabled] を選び、[Enter] キーを押す。
- 6 [F10] キーを押す。
設定内容の保存確認のメッセージが表示される。
- 7 [OK] を選び、[Enter] キーを押す。
クライアントモジュールが再起動される。

LAN2 を有効にする

- 1 クライアントモジュールの電源を入れ、セットアップメニューを起動する。
セットアップメニューが起動する。
セットアップメニューの起動方法→「[起動方法](#)」 P.34
- 2 [←]、[→] キーで [Security] を選ぶ。
[Security] メニューが表示される。
- 3 [↑]、[↓] キーで [LAN2] を選び、[Enter] キーを押す。
[LAN2] サブメニューが表示される。

- 4 [↑]、[↓] キーで [LAN2] を選び、[Enter] キーを押す。
[Disabled] または [Enabled] を選択する画面が表示される。
- 5 [↑]、[↓] キーで [Enabled] を選び、[Enter] キーを押す。
- 6 [F10] キーを押す。
設定内容の保存確認のメッセージが表示される。
- 7 [OK] を選び、[Enter] キーを押す。
クライアントモジュールが再起動される。
- 8 クライアントモジュールの電源を切る。
- 9 FLORA bd ベースユニットからクライアントモジュールを取り外し、約 30 秒経過後、再度元の位置に取り付ける。

注意

クライアントモジュールの取り扱いは、すべて保守員におまかせください。
取り扱い不備により、クライアントモジュールやハードディスク故障の原因となります。



クライアントモジュールの取り外しおよび取り付けにあたって、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。



FLORA bd ベースユニットに取り付けられたすべてのクライアントモジュールに対して実施する場合は、手順 1 から手順 8 までをあらかじめすべてのクライアントモジュールで実施後、FLORA bd ベースユニットから電源コードを抜き、約 30 秒経過後、電源コードを接続します。

BIOS の設定値について

ここでは、BIOS の出荷時設定値（デフォルト値）と設定項目について説明します。

BIOS 設定値一覧

項目	設定値
Main	
Version	自動判定
Build Date	自動判定
Firmware Version	自動判定
Config. Version	自動判定
Brand	自動判定
Speed	自動判定
Available	自動判定
System Time	使用者による設定
System Date	使用者による設定
LAN1 Address	自動判定
LAN2 Address	自動判定
Advanced	
CPU Configuration	
Virtualization Technology	Disabled *1
Execute-Disable Bit	Enabled
Core Multi-Processing	Enabled *1
Intel(R) SpeedSetp(tm)	Enabled *1
Intel(R) C-STATE Technology	Enabled
Enhanced C-States	Enabled *1
Video Configuration	
Internal Graphics Mode Select	Enabled, 8MB
DVMT Mode Select	DVMT Mode
DVMT/FIXED Memory	128MB

項目	設定値
IDE Configuration	
ATA/IDE Configuration	Enhanced
Primary IDE Master	Hard Disk
Device	自動判定
Vendor	自動判定
Size	自動判定
LBA Mode	自動判定
Block Mode	自動判定
PIO Mode	自動判定
Async DMA	自動判定
Ultra DMA	自動判定
S.M.A.R.T.	自動判定
Type	Auto
LBA/Large Mode	Auto
Block (Multi-Sector Transfer)	Auto
PIO Mode	Auto
DMA Mode	Auto
S.M.A.R.T.	Auto
32Bit Data Transfer	Enabled
Peripheral Configuration	
Serial Port1 Address	Disabled
Power On Configuration	
Restore on AC Power Loss	Power Off
Resume On PME#	Enabled
Resume On RTC Alarm	Disabled
Legacy USB Support	Enabled
High Precision Event Timer	Enabled
Server	
IPMI Configuration	
Clear System Event Log	Disabled
WDT Function During POST	Disabled
Security	
Supervisor Password	自動判定
User Password	自動判定
Set Supervisor Password	使用者による設定
Set User Password	使用者による設定
Password Check	Setup
Set Primary HDD Password	使用者による設定
AUDIO	Enabled
LAN1	Enabled
LAN2	Enabled
LAN2	Enabled

項目	設定値
Boot	
Boot Device Priority	
1st Boot Device	SATA
Hard Disk Drives	
1st Drive	SATA
Boot Settings Configuration	
Quick Boot	Enabled
Full Logo Display	Enabled
Network Boot	Disabled
Multi-Boot Menu	Enabled
Setup Prompt	Enabled
Halt On	No errors

*1: Celeron プロセッサモデルでは表示されません。

5

困ったときには

この章では、FLORA bd が正常に動作しないときの対処方法を説明します。

こんな状態のときは	72
クライアントモジュール起動時のエラー	78

こんな状態のときは

ここでは、FLORA bd、クライアントモジュールや周辺機器が正しく動作しない現象とその対処方法をまとめています。次の対処方法を行っても不具合が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。なお、障害の状態によっては、障害原因が特定できない場合があります。あらかじめご了承ください。

また、ご購入後に設定された OS、BIOS、ファームウェアなどのシステム情報の回復や OS の再セットアップは、ユーザズガイドまたはソフトウェアガイドを参照して行ってください。ご購入後にインストールされたアプリケーションは、当該アプリケーションのマニュアルを参照して行ってください。

クライアントモジュールの不具合

No.	不具合部位	不具合現象	確認事項・対処方法
1-1	ディスプレイ・画像 (KVM ケーブル使用)	クライアントモジュールの電源は入るが、画面が表示されない。	ディスプレイのコンセントは接続されていますか？ ディスプレイの電源は入っていますか？ KVM ケーブルはクライアントモジュールにしっかりと接続されていますか？ [Ctrl]+[Alt]+[F1] キーを押すと、表示されませんか？ ディスプレイを交換して改善されますか？ 改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-2	ディスプレイ・画像 (KVM ケーブル使用)	Windows ロゴ以降の画面が表示されず、その後真っ暗になる	はじめて電源を入れたときに、KVM ケーブルでディスプレイ / キーボードを接続していましたか？ 『ソフトウェアガイド』 1 章「電源を入れ直す」「ディスプレイに画面が表示されないときには」をご参照ください。
1-3	ディスプレイ・画像 (KVM ケーブル使用)	画面表示が異常、または画面にゴミが表示される	ディスプレイの明るさ調整、コントラスト調整は正しいですか？ KVM ケーブルは、クライアントモジュールとディスプレイケーブルの両方にしっかりと接続されていますか？ ディスプレイを交換して改善されますか？ OS のビデオドライバは正しいものがインストールされていますか？ 液晶ディスプレイをご使用の場合は、まれに点灯しない画素がありますが、故障ではありません。 改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。

No.	不具合部位	不具合現象	確認事項・対処方法
1-4	ディスプレイ・画像 (KVM ケーブル使用)	画像が乱れる	FLORA bd の周囲に、電源の入っている精密機器を置いていませんか？ クライアントモジュールの使用中に、ディスプレイの位置を変えていませんか？ ディスプレイに地磁気の影響や色ムラが発生することがあります。一度電源を切り、30 分以上時間を置いてから、再びご使用ください。 クライアントモジュールとディスプレイを近接して置いていませんか？ クライアントモジュールとディスプレイを離すか、リフレッシュレートの設定値を上げてください。 ディスプレイを交換して改善されますか？ 改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-5	ディスプレイ・画像 (KVM ケーブル使用)	画面の表示が読めない または歪んでいる	リフレッシュレートの設定がディスプレイの仕様を超えていませんか？ ディスプレイを交換して改善されますか？ 改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-6	ディスプレイ・画像 (KVM ケーブル使用)	画面がブルースクリーンの まま動作しない	再起動を試みて、改善されないようならば OS の再インストールを行ってください。 改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-7	電源・LED ほか	電源が入らない 画面に何も表示されない 全 LED が消灯している PWR LED が赤点灯しない	FLORA bd に電源コードが正しく接続されていますか？ クライアントモジュールは FLORA bd にしっかり接続されていますか？ KVM ケーブルを抜くと、PWR LED が赤点灯しませんか？ 改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
		ネットワークを経由したリモート操作で電源制御ができない	リモート操作で電源制御ができない場合は、電源制御パスワード設定不備、またはクライアントモジュールの不具合やネットワーク環境の不具合が考えられます。電源制御パスワードの設定については、『ソフトウェアガイド』「2 システムの運用と管理」の「リモートからの電源制御パスワード変更」をご参照ください。 パスワードの設定変更をしていないにも関わらずリモート操作で電源制御ができない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-8	—	BIOS 起動時にエラーメッセージが表示される	本書の「 クライアントモジュール起動時のエラー 」 P.78 を参照して、障害の修復をしてください。
1-9	キーボード (KVM ケーブル使用)	キーボードから入力できない	KVM ケーブルはクライアントモジュールとキーボードの両方にしっかりと接続されていますか？ KVM ケーブルをクライアントモジュールから取り外し、再度取り付けて症状が改善されますか？ 症状が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-10	マウス (KVM ケーブル使用)	マウスが正常に動作しない	KVM ケーブルはクライアントモジュールとマウスの両方にしっかりと接続されていますか？ KVM ケーブルをクライアントモジュールから取り外し、再度取り付けて症状が改善されますか？ 症状が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-11	メモリ	メモリ容量が実際に取り付けられている容量よりも少なく表示される	お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。

No.	不具合部位	不具合現象	確認事項・対処方法
1-12	HDD	HDD が正しく動作しない	OS の操作説明書を参照して、ファイルシステムのチェックを行ってください。 一度クライアントモジュールをシャットダウンし、30 秒待ってから再度電源を入れてください。 症状が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。 なお、HDD 交換後の OS 再セットアップをご希望の場合は有償となります。お買い求め先へご相談ください。
1-13	HDD	Windows のエラーが発生して、再起動しても使用できない Windows が起動しない	FLORA bd100 ソフトウェアガイドを参照して、OS のセットアップをしておいてください。 なお、OS の再セットアップを行うと、ご購入後に作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。あわせてバックアップデータより回復する、またはアプリケーションの再セットアップを行ってください。 症状が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。 なお、HDD 交換後の OS 再セットアップをご希望の場合は有償となります。お買い求め先へご相談ください。
1-14	USB 機器 (FDD)	FDD が動作しない	KVM ケーブルがクライアントモジュールと FDD の両方に正しく接続されていますか？ 弊社オプション機器以外を接続していませんか？ ほかのドライブと交換して、症状が改善されますか？ FD を交換して症状が改善されますか？ 症状が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-15	USB 機器 (DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ)	DVD-ROM / CD-ROM が動作しない	KVM ケーブルがクライアントモジュールと DVD-ROM & CD-R/RW ドライブの両方に正しく接続されていますか？ 弊社オプション機器以外を接続していませんか？ ほかのドライブと交換して、症状が改善されますか？ DVD-ROM / CD-ROM を交換して、症状が改善されますか？ 症状が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-16	—	STATUS ランプが赤点滅	お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-17	—	OS 起動後に、エラーメッセージが表示される	OS の操作説明書やヘルプ画面に従い、障害の復旧を試みてください。
1-18	—	OS がハングアップする	再起動を試みてください。
1-19	—	LAN1/LAN2 ランプ消灯	LAN ケーブルがクライアントモジュールとスイッチング HUB の両方に正しく接続されていますか？ LAN ケーブルをスイッチング HUB の別の口に接続して症状が改善されますか？ ほかの LAN ケーブルと交換して、症状が改善されますか？ ソフトでのネットワーク設定が間違っていないですか？ 参照→「ソフトウェアガイド」2 章 症状が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-20	—	クライアントモジュールから異音がある	コンセントから電源プラグを抜き、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
1-21	—	クライアントモジュールから異音がある	お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。

No.	不具合部位	不具合現象	確認事項・対処方法
1-22	LAN1	LAN1 コネクタから LAN ケーブルを抜き、リンクオフ状態のままシャットダウンを行うと、シャットダウン後に LAN1 ランプが緑色に点灯する	制限事項です。通信機能への影響はなく、再度 LAN ケーブルを接続することでランプの動作は回復します。
1-23	LAN2	セットアップメニューで有効にしても LAN2 が使用できない	クライアントモジュールを FLORA bd ベースユニットから取り外し、30 秒経過後、再度元の位置に取り付けます。 クライアントモジュールの取り扱いは保守員が行います。お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。

CPU ファンの不具合

ここでは、CPU ファンが正しく動作しない現象とその対処方法をまとめています。

No.	不具合部位	不具合現象	確認事項・対処方法
2-1	CPU ファン	ファンから異臭がする	コンセントから電源プラグを抜き、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
2-2		ファンが回転しない STATUS ランプが赤点滅	お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
2-3		ファンから異音がある	お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。

電源ユニットの不具合

ここでは、電源ユニットが正しく動作しない現象とその対処方法をまとめています。

No.	不具合部位	不具合現象	確認事項・対処方法
3-1	電源ユニット	電源ユニットから異臭がする	コンセントから電源プラグを抜き、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
3-2		電源ランプが点灯しない	電源コードは接続されていますか？ AC 入力端子に給電されていますか？ 異常がない場合には、お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
3-3		電源ユニットから異音がある	お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。

STATUS ランプが赤点滅

ここでは、STATUS ランプが赤点滅したときの状態確認とその対処方法をまとめています。
状態確認や内容（ログ）の保存は Windows イベントビューアで行います。

- 確認する場合
次の順にダブルクリックします。
「コントロールパネル」 - 「管理ツール」 - 「イベントビューア」 - 「アプリケーション」
- 保存する場合
「イベントビューア」を表示し、その画面の「システム」の上で右クリックします。表示されたツリーの「ログファイルの名前を付けて保存」をクリックし、FDなどに保存します。

□ 運用時のエラー

No.	不具合部位	Windows イベントビューアのメッセージ 上段：エラー 下段：回復	対処方法
4-1	クライアントモジュール	・ CPU 温度が上限値を上回りました。%1 ・ CPU 温度が回復しました。%1	クライアントモジュールの交換 お買い求め先にご連絡 いただくか、保守員に 連絡してください。
4-2		・ v_core 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ v_core 電圧が回復しました。%1	
4-3		・ v_core 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ v_core 電圧が回復しました。%1	
4-4		・ 3.3v_S0 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ 3.3v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-5		・ 3.3v_S0 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ 3.3v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-6		・ 5.0v_S0 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ 5.0v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-7		・ 5.0v_S0 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ 5.0v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-8		・ 12v_S0 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ 12v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-9		・ 12v_S0 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ 12v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-10		・ 5vSB 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ 5vSB 電圧が回復しました。%1	
4-11		・ 5vSB 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ 5vSB 電圧が回復しました。%1	
4-12		・ 1.8v_S3 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ 1.8v_S3 電圧が回復しました。%1	
4-13		・ 1.8v_S3 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ 1.8v_S3 電圧が回復しました。%1	
4-14		・ 1.5v_S0 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ 1.5v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-15		・ 1.5v_S0 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ 1.5v_S0 電圧が回復しました。%1	
4-16		・ VTT 電圧が下限値を下回りました。%1 ・ VTT 電圧が回復しました。%1	

No.	不具合部位	Windows イベントビューアのメッセージ 上段：エラー 下段：回復	対処方法
4-17	クライアントモジュール	・ VTT 電圧が上限値を上回りました。%1 ・ VTT 電圧が回復しました。%1	クライアントモジュールの交換 お買い求め先にご連絡 いただくか、保守員に 連絡してください。
4-18	ファン	・ CPU ファンの回転数が下限値を下回りました。%1 ・ CPU ファンの回転数が回復しました。%1	ファンの交換 お買い求め先にご連絡 いただくか、保守員に 連絡してください。

%1：記録された日時が表示されます。

□ 起動時のエラー

No.	不具合部位	Windows イベントビューアのメッセージ	対処方法
4-19	クライアントモジュール	CMOS のチェックサムエラーが発生しました。%1	電池の交換 お買い求め先にご連絡 いただくか、保守員に 連絡してください。
4-20		メモリチェックエラーが発生しました。%1	メモリの交換 お買い求め先にご連絡 いただくか、保守員に 連絡してください。
4-21	HDD	ハードディスクの SMART エラーが発生しました。%1	HDD の交換 お買い求め先にご連絡 いただくか、保守員に 連絡してください。
4-22		ハードディスクの接続エラーが発生しました。%1	

%1：記録された日時が表示されます。

クライアントモジュール起動時のエラー

ここでは、クライアントモジュール起動時のエラーへの対処について説明します。

エラーメッセージが表示される場合

初期診断時に異常が検出されると、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。次のようなエラーメッセージが表示されたときは、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。なお、障害の状態によっては、障害原因が特定できない場合があります。あらかじめご了承ください。

	画面に表示されるエラーメッセージ	エラー内容	処置
1	CMOS Checksum Bad	リチウム電池が電圧降下を起こしています	お買い求め先にご連絡いただくか、保守員に連絡してください。
2	Hard Disk SMART Error	ハードディスクが故障しています	
3	Primary Master Hard Disk Error	ハードディスクが故障しています	
4	Memory test failed	メモリが故障しています *1	

*1: セットアップメニューの「Quick Boot」を「Disabled」に設定すると、テストを実施します。

6

お手入れと交換品

この章では、日常のお手入れ方法や交換が必要となる有寿命部品について説明します。

日常のお手入れ項目	80
クリーニングについて	81
有寿命部品	82

日常のお手入れ項目

FLORA bd は、定期的なお手入れの必要があります。次の表に従って日常のお手入れを行ってください。お手入れ時に異常がありましたら、お問い合わせ先にご連絡いただくか、保守員をお呼びください。

部位	清掃・確認項目		清掃・確認周期の目安
FLORA bd	清掃	1. 通気孔の塵埃除去	6ヶ月（注1）
	確認	1. ファンの異常音点検 （CPU ファン／電源含む） 2. STATUS ランプの点灯確認	6ヶ月

注1：塵埃が多い環境で使用される場合、清掃周期を1ヶ月にしてください。

クリーニングについて

FLORA bd

6ヶ月に一度の割合で定期的に通気孔のクリーニングを行ってください。（塵埃が多い環境で使用される場合は月に一度の割合で行ってください。）

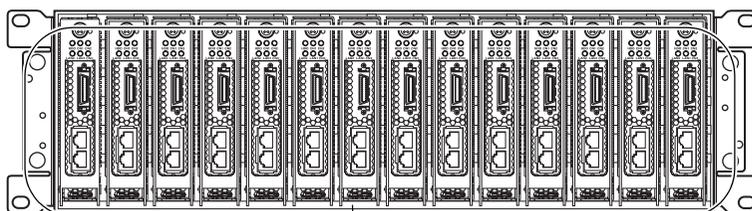
⚠ 警告

FLORA bd のクリーニングは、電源を切り、電源コードを抜いた状態で行ってください。感電や FLORA bd の故障の原因となります。

□ クリーニングのしかた

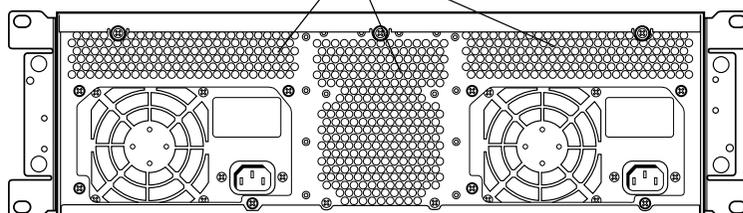
- 1 FLORA bd のすべてのクライアントモジュールの電源を切る。→「[電源を切る](#)」P.28
- 2 FLORA bd 背面に接続されている電源コードを、コンセントおよび FLORA bd から抜く。→「[電源コード](#)」P.25
- 3 FLORA bd の次に示す箇所の通気孔を乾いた布で拭くか掃除機で吸引する。

● FLORA bd 前面



クリーニング箇所（開孔部）

● FLORA bd 背面



- 4 電源コードの電源プラグのほこりを乾いた布で取り除き、コンセントおよび FLORA bd に接続する。→「[電源コード](#)」P.25

有寿命部品

次の部品は使用しているうちに劣化・消耗する有寿命部品のため、定期的に交換してください。これら有寿命部品の価格および納期については、お買い求め先にご相談ください。

項番	品名	適用製品形名	備考
1	ハードディスク	クライアントモジュール標準搭載	*1
2	クライアントモジュール	GY*10*X6-****NN*（“*”は任意の英数字）	*1
3	電源ユニット	FLORA bd 標準搭載	*2
4	CPU ファン	FLORA bd 標準搭載	*2
5	リチウム電池	クライアントモジュール標準搭載	*3

*1 「設置環境」P.3 で規定された設置環境において、1日8時間、1ヶ月25日の通電使用を想定したときの設計寿命は約5年です。使用環境・状態により寿命はかわります。また、上記の環境条件を超えて使用した場合、故障および寿命の劣化につながります。

*2 「設置環境」P.3 で規定された設置環境において、1日24時間、1ヶ月30日の通電使用を想定したときの設計寿命は約5年です。上記の環境条件を超えて使用した場合、故障および寿命の劣化につながります。

*3 設計寿命は約5年です。

注意

上記有寿命部品にはアルミ電解コンデンサを使用しているものがあります。
アルミ電解コンデンサは寿命があり、寿命を超えて使用すると電解液の漏れまたは枯渇により発煙・感電の原因となることがあります。
これらの危険を避けるために、有寿命部品について、設計寿命を超える場合には交換してください。
なお、交換作業については保守員にご依頼ください。

7

付録

この章では、FLORA bd の仕様やオプション品の一覧などについて説明します。

FLORA bd の仕様.....	84
オプション一覧.....	88
索引.....	90

FLORA bd の仕様

FLORA bd の仕様

形名	GY-SRF1021N-6 GY-RF10211-6 GY-SRF1021N-6A GY-RF10211-6A (AC100V モデル)	GY-SRF1022N-6 GY-RF10221-6 GY-SRF1022N-6A GY-RF10221-6A (AC200V モデル)
筐体タイプ	ラックタイプ 3U	
搭載 可能数	クライアントモジュール	最大 14 台
	電源	2 台
	ファン	4 台
外形寸法	426 (W) × 739.2 (D) × 130 (H) mm (フロントパネル・ラックレール部を除く)	
質量	約 22.8kg *1 / 最大 約 40.5kg *2	
最大消費電力 *3	601W (Celeron プロセッサ 540 モデル 14 台搭載時) 744W (Core 2 Duo プロセッサ T7250 モデル 14 台搭載時) 676W (Core 2 Duo プロセッサ T8100 モデル 14 台搭載時)	585W (Celeron プロセッサ 540 モデル 14 台搭載時) 729W (Core 2 Duo プロセッサ T7250 モデル 14 台搭載時) 651W (Core 2 Duo プロセッサ T8100 モデル 14 台搭載時)
騒音値 *4	54dB 以下	
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz 入力 2 系統	AC200V ± 10% 50/60Hz 入力 2 系統

*1: ベースユニットにラックレールを含んだ値です。ダミーパネル (0.48kg)、フロントパネル (0.78kg) は含みません。

*2: ベースユニットにクライアントモジュールを 14 台搭載した値です。ラックレールとフロントパネルも含まれます。

*3: クライアントモジュール 14 枚を搭載した状態の最大消費電力です。

*4: 設置環境や設置場所により、騒音が大きいと感じられることがありますので、一般事務室に設置する場合には環境や場所に十分ご注意のうえ、導入してください。

クライアントモジュールの仕様

■ Celeron プロセッサ 540 モデル

形名		GYF10*X6-2*21NNX GYF10*X6-2*21NNZ GYF10*X6-2*24NNX GYF10*X6-2*24NNZ (*は任意の数字)	GYE10*X6-2*21NNX GYE10*X6-2*21NNZ GYE10*X6-2*22NNX GYE10*X6-2*22NNZ (*は任意の数字)
CPU	サポート CPU (周波数)	Intel® Celeron® プロセッサ 540 (1.86GHz)	
	CPU 数	1	
	2次キャッシュ	1MB	
チップセット		Intel GM965 Express	
FSB クロック周波数		533MHz	
メインメモリー	DIMM 種別	DDR2 (Un-Buffered DIMM、Non-ECC、SO-DIMM)	
	DIMM スロット数	2	
	メモリー容量	最小：512MB 最大：2048MB	
グラフィック	ビデオコントローラ	Intel 965GM Express (GMA X3100：チップセットに内蔵)	
	VRAM	Shared system memory (最大 128MB)	
	最大解像度	1600 × 1200	
	最大発色数	32bit True color	
内蔵 HDD	タイプ	2.5 型 SATA HDD	
	容量	80GB	
	回転数	5400rpm	
	インタフェース	SATA/150	
LAN	インタフェース	2 ポート	
	通信速度	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	
	WOL 機能	サポート	
インタフェース (KVM コネクタ)	USB	USB1.1/2.0 × 3	
	Video	1	
対応 OS		Windows Vista Business Blade PC Edition (1RDL Version) [ダウングレード代行サービス 付] *1	Windows Vista Business Blade PC Edition (1RDL Version) + SP1
リモート制御		IPMI (Intelligent Platform Management Interface Specification) v1.5 準拠	
消費電力	アイドル時	約 24W	約 24W
	スタンバイ時	約 9.6W	約 9.8W
	最大	43W	43W
省エネ法に基づく 表示 (2007 年度基準)	区分	j	
	エネルギー消費効率 *2	0.0011	0.0011
外形寸法		126 (W) × 387 (D) × 28.4 (H) mm	
質量		約 1.2kg	

*1: [ダウングレード代行サービス] は、Windows Vista Business Blade PC Edition をご購入のお客様がダウングレード権を行使することに同意される場合、お客様のご要望により弊社がお客様に代わって Windows XP Professional Blade PC Edition をインストールして出荷するサービスです。
インストールされる OS は Windows XP Professional Blade PC Edition + SP2 となりますが、お客様がライセンスを取得される OS は Windows Vista Business Blade PC Edition となります。

*2: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

■ Core 2 Duo プロセッサ T7250 モデル

形名		GYF10*X6-3*21NNX GYF10*X6-3*21NNZ GYF10*X6-3*24NNX GYF10*X6-3*24NNZ (*は任意の数字)	GYE10*X6-3*21NNX GYE10*X6-3*21NNZ GYE10*X6-3*22NNX GYE10*X6-3*22NNZ (*は任意の数字)
CPU	サポート CPU (周波数)	Intel® Core™2 Duo プロセッサ T7250 (2GHz)	
	CPU 数	1	
	2 次キャッシュ	2MB	
チップセット		Intel GM965 Express	
FSB クロック周波数		800MHz	
メインメモリー	DIMM 種別	DDR2 (Un-Buffered DIMM、Non-ECC、SO-DIMM)	
	DIMM スロット数	2	
	メモリー容量	最小：1024MB 最大：2048MB	
グラフィック	ビデオコントローラ	Intel 965GM Express (GMA X3100：チップセットに内蔵)	
	VRAM	Shared system memory (最大 128MB)	
	最大解像度	1600 × 1200	
	最大発色数	32bit True color	
内蔵 HDD	タイプ	2.5 型 SATA HDD	
	容量	80GB	
	回転数	5400rpm	
	インタフェース	SATA/150	
LAN	インタフェース	2 ポート	
	通信速度	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	
	WOL 機能	サポート	
インタフェース (KVM コネクタ)	USB	USB1.1/2.0 × 3	
	Video	1	
対応 OS		Windows Vista Business Blade PC Edition (1RDL Version) [ダウングレード代行サービス 付] *1	Windows Vista Business Blade PC Edition (1RDL Version) + SP1
リモート制御		IPMI (Intelligent Platform Management Interface Specification) v1.5 準拠	
消費電力	アイドル時	約 21W	約 23W
	スタンバイ時	約 9.8W	約 9.9W
	最大	54W	53W
省エネ法に基づく表示 (2007 年度基準)	区分	j	
	エネルギー消費効率 *2	0.00049	0.00051
外形寸法		126 (W) × 387 (D) × 28.4 (H) mm	
質量		約 1.2kg	

*1: [ダウングレード代行サービス]は、Windows Vista Business Blade PC Edition をご購入のお客様がダウングレード権を行使することに同意される場合、お客様のご要望により弊社がお客様に代わって Windows XP Professional Blade PC Edition をインストールして出荷するサービスです。

インストールされる OS は Windows XP Professional Blade PC Edition + SP2 となりますが、お客様がライセンスを取得される OS は Windows Vista Business Blade PC Edition となります。

*2: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

■ Core 2 Duo プロセッサ T8100 モデル

形式		GYF10*X6-8*21NNX GYF10*X6-8*21NNZ GYF10*X6-8*24NNX GYF10*X6-8*24NNZ (*は任意の数字)	GYE10*X6-8*21NNX GYE10*X6-8*21NNZ GYE10*X6-8*22NNX GYE10*X6-8*22NNZ (*は任意の数字)
CPU	サポート CPU (周波数)	Intel® Core™2 Duo プロセッサ T8100 (2.10GHz)	
	CPU 数	1	
	2 次キャッシュ	3MB	
チップセット		Intel GM965 Express	
FSB クロック周波数		800MHz	
メインメモリー	DIMM 種別	DDR2 (Un-Buffered DIMM、Non-ECC、SO-DIMM)	
	DIMM スロット数	2	
	メモリー容量	最小：1024MB 最大：4096MB	
グラフィック	ビデオコントローラ	Intel 965GM Express (GMA X3100：チップセットに内蔵)	
	VRAM	Shared system memory (最大 128MB)	
	最大解像度	1600 × 1200	
	最大発色数	32bit True color	
内蔵 HDD	タイプ	2.5 型 SATA HDD	
	容量	80GB	
	回転数	5400rpm	
	インタフェース	SATA/150	
LAN	インタフェース	2 ポート	
	通信速度	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	
	WOL 機能	サポート	
インタフェース (KVM コネクタ)	USB	USB1.1/2.0 × 3	
	Video	1	
対応 OS		Windows Vista Business Blade PC Edition (1RDL Version) [ダウングレード代行サービス 付] *1	Windows Vista Business Blade PC Edition (1RDL Version) + SP1
リモート制御		IPMI (Intelligent Platform Management Interface Specification) v1.5 準拠	
消費電力	アイドル時	約 22W	約 23W
	スタンバイ時	約 9.2W	約 9.2W
	最大	48W	49W
省エネ法に 基づく表示 (2007 年度基準)	区分	j	
	エネルギー消費効率 *2	0.00047	0.00049
外形寸法		126 (W) × 387 (D) × 28.4 (H) mm	
質量		約 1.2kg	

*1: [ダウングレード代行サービス] は、Windows Vista Business Blade PC Edition をご購入のお客様がダウングレード権を行使することに同意される場合、お客様のご要望により弊社がお客様に代わって Windows XP Professional Blade PC Edition をインストールして出荷するサービスです。
インストールされる OS は Windows XP Professional Blade PC Edition + SP2 となりますが、お客様がライセンスを取得される OS は Windows Vista Business Blade PC Edition となります。

*2: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

オプション一覧

網がけ部分のオプションは必須です。次のように選択してください。

*2X と *3 は接続方法により、どちらかを選択します。

*1 : 1 ラックに 1 式

*2X : 21 は 1 ラックに 1 式、22 は 1 サイトに 1 式

*3 : 1 ラックに 1 式

*4 : 1 サイトに 1 式

*5 : 空きスロット毎に必須

補足

- オプション品はサポート時期が異なるものや、追加サポート、完売となるものがあります。詳しくはお買い求め先にご確認ください。
- 指定したオプション品以外の流通品を使用する場合、動作保証の対象外となります。

ラックオプション

製品名	形名	仕様
KVM ケーブル *1	GY-LY7201A	キーボード/ディスプレイ/マウス接続用、1m
キーボード/マウス *21	GY-KB700M	USB キーボード/マウス
キーボード/マウス収納ユニット *3	GH-RK7003	PS/2 キーボード/マウス + 収納ユニット、1U
液晶ディスプレイ *22	PC-DTA17BSXNY	17 型 TFT 液晶ディスプレイ
	GQ-DT7170	17 型 TFT 液晶ディスプレイ
USB KVM ケーブル *3	GH-LUB7113	ディスプレイ、USB 接続用ケーブル
	GQ-LUB7113	ディスプレイ、USB 接続用ケーブル
コンソール切替ユニット *3	GH-AT7045	ディスプレイ、キーボード、マウス接続用 (4 ポート)
	GH-AT7085	ディスプレイ、キーボード、マウス接続用 (8 ポート)
	GQ-AT7045	ディスプレイ、キーボード、マウス接続用 (4 ポート)
	GQ-AT7085	ディスプレイ、キーボード、マウス接続用 (8 ポート)
ディスプレイ/キーボードユニット *3	GH-RLK7230	15 型液晶ディスプレイ+キーボード+ポインティングデバイス、1U
	GQ-RLK7240	17 型液晶ディスプレイ+キーボード+マウス、1U
コンソール切替ユニット付き ディスプレイ/キーボードユニット *3	GH-SRLK7230	GH-RLK7230+GH-AT7045 のセット品、1U
	GH-RLK7231	GH-RLK7230+8 ポート コンソールユニット、1U
	GQ-SRLK7240	GQ-RLK7240+GQ-AT7045 のセット品、1U
	GQ-RLK7241	GQ-RLK7240+8 ポート コンソールユニット、1U
コンソール切替ユニットセット *3	GH-SAT7045S	GH-AT7045+GH-AU7622+GH-RK7003 のセット品 (4 ポート)、2U
	GH-SAT7085S	GH-AT7085+GH-RK7003 のセット品 (8 ポート)、2U
DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ *4	GY-FV8200A	USB2.0

製品名	形名	仕様
FD ドライブ*4	GY-UF2231B	USB1.1
ダミーブラケット*5	GY-RP7021 □□	空きスロットには取り付け必須 □□: BX は工場増設 空白は現地増設
LAN ケーブル (10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T 用)	GH-LN7E015	カテゴリ 5 エンハンスケーブル 1.5m
	GH-LN7E05	カテゴリ 5 エンハンスケーブル 5m
	GH-LN7E10	カテゴリ 5 エンハンスケーブル 10m
	GH-LN7E20	カテゴリ 5 エンハンスケーブル 20m
キーボード/マウス延長ケーブル	GH-LK7301	ケーブル長: 2m
スイッチング HUB	GH-BH7724	24 ポート (10Mbps/100Mbps/1Gbps [Copper])
HUB 収納ユニット	GH-RH7202BK	スイッチング HUB 収納用
ラックキャビネット	GH-RK7386	38U:EIA (黒) リアドア付き
	GH-RK7166	16U:EIA (黒)
	GH-SRK7386	38U:EIA (黒) (リアドア付き、フロントドア付き、サイドパネル付き)
	GH-SRK7166	16U:EIA (黒) (フロントドア付き、サイドパネル付き)
静音化ラックキャビネット	GH-RK7387	38U:EIA (黒) 静音化ドア (リアドア) 付き
フロントドア	GH-RD7386	38U (黒)
	GH-RD7167	16U (黒)
リアドア	GH-RD7168	16U (黒)
静音化ドア	GH-RD7388	38U (黒) 静音化仕様、フロントドア/リアドア兼用
	GH-RD7169	16U (黒) 静音化仕様、フロントドア/リアドア兼用
サイドパネル	GH-RS7386	38U (黒):2 枚 1 組
	GH-RS7166	16U (黒):2 枚 1 組
ラック連結キット	GH-RJ7006	16U (黒) (RK7166) /38U (黒) (RK7386) 用
ブランクパネル	GH-RP7012	16/38U 共用:1U (黒)
フロントパネル	GY-RP7022 □□	ベースユニット+スイッチング HUB 用 (4U) □□: BX は工場増設 空白は現地増設
コンセントボックスユニット	GH-AG7107	AC100V 用、アウトレット 6 口、ブレーカスイッチ付き
	GY-AG7100	AC200V 用、アウトレット 4 口、ブレーカスイッチ付き
コンソール切替ユニットラックマウントキット	GH-AU7622	コンソール切替ユニット (AT7045) 搭載用
液晶ディスプレイ収納ユニット	GH-RL7502	液晶ディスプレイ (DTA17BSXNY) 搭載用、3U
	GQ-RL7503	液晶ディスプレイ (DT7170) 搭載用、3U
HA8000 ラック用ネジ	GH-AR7901	ラックキャビネット搭載用ネジ、ナットセット

クライアントモジュール増設オプション

製品名	形名	仕様
メモリーボード	GY-MJ701GCB	1024MB、DDR2 667、Un-Buffered SO-DIMM
	GY-MK702GCBB *	2048MB、DDR2 800、Un-Buffered SO-DIMM

*: Core 2 Duo プロセッサ T8100 モデルのみサポート。

索引

■ B

BIOS
設定値一覧 67

■ C

CPU ファン
不具合 75

■ D

DVD-ROM & CD-R/RW
接続 21

■ F

FDD
接続 21
FLORA bd
仕様 84
使用環境 5
信頼性 iii
制限事項 5
接続 21
設置 20
設置環境 3
設置場所 20
同梱品 20
取り扱い 5

■ H

HDD ランプ 16

■ I

CALL ランプ 17

■ K

KVM コネクタ 17
KVM コネクタカバー 17

■ L

LAN1 コネクタ 17
LAN1 ランプ 16
LAN2 コネクタ 17
LAN2 ランプ 16
LAN コネクタカバー 17

■ S

STATUS ランプ 16

■ あ

安全にお使いいただくために
一般のご注意 xiii
運用時のご注意 xvii
警告 xv
設置時・増設時のご注意 xv
電源・電源コードのご注意 xiv

■ え

エラーメッセージ 78

■ お

オプション一覧 88

■ き

キーボード
接続 21
規制・対策
高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品 iii
雑音耐力 iii
電源の瞬時電圧低下対策 iii
電波障害自主規制 iii
廃棄 iv
廃棄・譲渡時のデータ消去 viii
輸出規制 iv

■ く

- クライアントモジュール
 - 起動時のエラー 78
 - こんな状態のときは 72
 - 仕様 85
 - 不具合 72
- クリーニング
 - FLORA bd 81

■ け

- 警告ランプ 16
- 欠品 vi

■ こ

- 困ったときは vi
- コンセント 7
- コンピューターウイルス 12

■ さ

- サポートサービス
 - 契約保守 10
 - 期間 10
 - サポートサービスについて 9
 - サポートサービスの種類 10
 - パーコール保守 10
 - 有償サポート 11

■ し

- 周辺機器
 - 使用環境 2, 5
 - 取り扱い 5
- 重要なお知らせ iii
- 使用環境
 - FLORA bd 2, 5
 - 周辺機器 2, 5
- 商標 iv
- 初期不良 vi
- 診断用ランプ 17

■ せ

- 接続
 - DVD-ROM & CD-R/RW 21
 - FDD 21
 - キーボード 21
 - ディスプレイ 21
 - 電源コード 25

■ て

- 電源
 - 入れる 27
 - 強制的に電源を切る 28
 - 切る 28
- 電源コード
 - 接続 25
- 電源スイッチ 16
- 電源ユニット
 - 不具合 75
- 電源ランプ 16

■ と

- 取り扱い
 - FLORA bd 5
 - 周辺機器 5
- 取り付け位置
 - メモリーボード 30

■ に

- 日常のお手入れ 80

■ ね

- ネットワーク構成例 2

■ は

- バックアップ 12
- 版權 iv

■ ふ

- 不具合
 - CPU ファン 75
 - クライアントモジュール 72
 - 電源ユニット 75

■ ま

マニュアル

ソフトウェアガイド [xx](#)

ユーザズガイド [xix](#)

マニュアルの表記

オペレーティングシステムの略称 [v](#)

マーク [v](#)

■ め

メモリーボード

4GB 搭載時の制限 [31](#)

仕様 [29](#)

取り付け位置 [30](#)

■ ゆ

有寿命部品 [82](#)

■ ら

ライセンス [iv](#)

FLORA bd100 ユーザーズガイド

初 版 2008年4月
第4版 2009年3月
無断転載を禁止します。

株式会社 日立製作所 エンタープライズサーバ事業部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

<http://www.hitachi.co.jp>



再生紙

このマニュアルは再生紙を使用しています。

FB10001050-4